

2019年度 業務実績報告書

2020年6月

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

I 法人の概要

1 法人の現況

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター
- (2) 所在地 岐阜県岐阜市野一色4-6-1
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員状況(平成31年4月1日現在)

	氏名	役職
理事長	滝谷 博志	センター院長
副理事長	水野 雅臣	センター副院長兼事務局長
理事	桑原 尚志	センター副院長
理事	野田 俊之	センター副院長
理事	飯田 真美	センター副院長
理事	古田 明美	センター副院長兼看護部長
理事	森 秀樹	国立大学法人岐阜大学前学長
理事	石井 直子	学校法人岐阜学園理事長
監事	小森 正悟	弁護士(小森正悟法律事務所)
監事	山田 英貴	公認会計士・税理士(山田会計事務所)

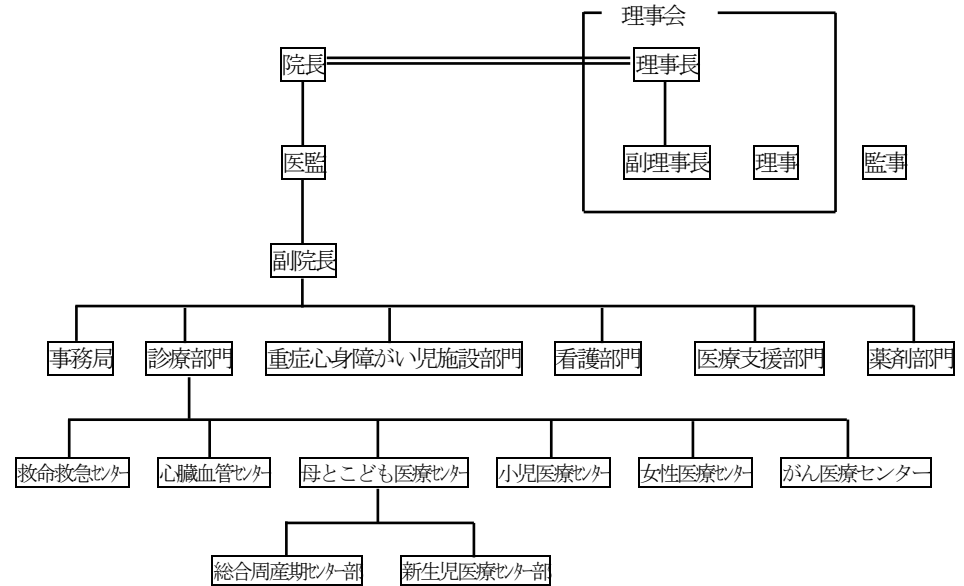
(5) 職員数(平成31年4月1日現在)

単位:人

職種	常勤	非常勤	合計
医師	182	48	230
看護師等	683	80	763
コメディカル	232	11	243
事務等	91	211	302
合計	1,188	350	1,538

(6) 組織図

平成31年4月1日現在



2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター（以下「法人」という。）は、平成22年度の設定以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

設立から平成26年度までの第1期中期目標期間中においては、理事長の強いリーダーシップの下、職員一丸となって診療機能の充実・強化及び経営改善を図り、目標としてきた質の高い医療サービスの効果的な提供に努め、内視鏡支援ロボット（ダ・ヴィンチ）の導入、小児集中治療室（PICU）の開設、経常収支比率100%の3年目からの達成など着実な成果をあげた。

一方、医療を取り巻く環境は、社会保障・税一体改革大綱（平成24年2月17日閣議決定）において、急性期をはじめとする医療機能の強化、病院・病床機能の役割分担・連携の推進、在宅医療の充実などに取り組み、団塊世代が75歳以上となる平成37年（令和7年）に向けて医療提供体制の再構築や地域包括ケアシステムの構築を図ることとされている。

このため、第2期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第1期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、二次医療圏はもとより、三次医療圏の中核的な病院として、県下全体を視野に入れて、県民が必要とする安全・安心・良質な医療を提供するとともに、県全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

岐阜県総合医療センターの理念は、「県民に信頼され、患者本位の安全で良質な全人的医療の提供」で、①岐阜県の基幹病院としての急性期を中心とした医療を担当する。②科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に努める。③必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保する。④地域の医療機関や福祉施設との連携を重視する。⑤迅速かつ確実な医療とするとともに、効率的な病院経営に努める。⑥医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与することなどを基本方針としている。

3 設置する病院の概要

- (1) 病院名称 岐阜県総合医療センター
- (2) 所在地 岐阜県岐阜市野一色4-6-1
- (3) 沿革

年	月	概要
昭和28年	7月	岐阜県立岐阜病院として開院 (病床数130床)
昭和29年	10月	総合病院の承認を受ける (病床数259床)
昭和43年	2月	救急告示病院に指定
昭和45年	6月	特殊放射線棟新築
昭和47年	8月	東病棟新築 (病床数370床)
昭和49年	3月	厚生省臨床研修病院に指定
昭和58年	9月	西病棟新築 (病床数500床)
昭和58年	11月	救命救急センター開設
昭和63年	3月	中央診療・新生児センター棟新築 (病床数522床)
平成4年	2月	特殊放射線棟増築
平成4年	7月	病院医療総合情報システム導入
平成8年	8月	新生児センター3床増床 (病床数525床)
平成8年	12月	基幹災害拠点病院に指定
平成9年	4月	院外処方箋実施
平成9年	7月	結核病床を廃止し、一般病床に変更 (病床数530床)
平成11年	8月	クリニカルパス導入
平成11年	11月	25床増床 (病床数555床)
平成13年	6月	病診連携室（平成14年4月より病診連携部へ改組）設置
		開放型病床（12床）開設 (平成14年1月より27床)
平成14年	3月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定証取得
平成14年	4月	女性専用外来開設
平成14年	10月	医療安全部開設
平成16年	4月	新医師臨床研修病院に指定
平成17年	1月	地域がん診療連携拠点病院に指定
平成18年	11月	本館新築。岐阜県総合医療センターへ名称変更 (病床数590床)
		岐阜県立病院医療総合情報システム（電子カルテ）導入
平成19年	8月	岐阜DMAT指定病院に指定（DMAT：災害派遣医療チームの略）
平成19年	9月	7対1看護体制を取得

平成20年	2月	総合周産期母子医療センターに指定
平成20年	9月	地域医療支援病院に指定
平成21年	4月	DPC（入院包括診療報酬制度）対象病院に指定
平成22年	1月	情報交流棟・管理棟改修工事完成
平成22年	4月	地方独立行政法人岐阜県総合医療センターへ移行
平成23年	4月	患者駐車場500台の整備
平成24年	3月	DPC医療機関群II群の適用
平成24年	4月	へき地医療拠点病院の指定
平成25年	4月	PICU（小児集中治療室）2床稼働
平成25年	7月	ハイブリッド手術室新設
平成26年	10月	PICU（小児集中治療室）4床稼働
平成27年	7月	PICU（小児集中治療室）6床稼働
平成28年	2月	重症心身障がい児病棟（小児医療センター）完成（病床数604床）
平成28年	3月	重症心身障がい児施設「すこやか」運営開始
平成28年	10月	新生児医療センター改修工事完成
平成29年	4月	日本小児総合医療施設協議会に入会
平成29年	10月	救命救急センター改修工事完成（S-ICU:0床→8床、救命救急:26床→22床、ICU:4床→0床）
平成30年	10月	5階東西病棟再編（5階東:54床→40床、5階西:16床→30床）
平成30年	12月	9階西病棟に感染症専用病床（2床）設置
2019年	9月	重症心身障がい児施設「すこやか」4階（16床）稼働（病床数620床）

理念	県民の皆様方に信頼され、患者さん本位の安全で良質な全人的医療を提供します。
主な役割及び機能	<ul style="list-style-type: none"> 高度で先進的な急性期医療センター機能 救命救急センターを設置する第三次救急医療施設 基幹災害拠点病院及びDMAT指定病院 地域がん診療連携拠点病院 総合周産期母子医療センター 小児救急医療拠点病院 地域医療支援病院 へき地医療拠点病院 エイズ治療拠点病院 臨床研修指定病院
重点医療	<p>5つの重点医療と6つのセンターによる高度先進医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 救命救急医療（救命救急センター） 心臓血管疾患医療（心臓血管センター） 周産期医療とこども医療（母とこども医療センター、小児医療センター） がん医療（がん医療センター） 女性医療（女性医療センター）
診療科目	総合診療科／内科／糖尿病・内分泌内科／膠原病科／腎臓内科／心療内科／精神科／精神腫瘍科／神経内科／血液内科／呼吸器内科／感染症内科／消化器内科／肝臓内科／胆膵内科／疼痛緩和内科／循環器内科／高血圧科／不整脈科／小児科／小児感染症内科／小児腎臓内科／小児循環器内科／成人先天性心疾患診療科／小児療育内科／新生児内科／外科／消化器外科／肝胆膵外科／大腸外科／乳腺外科／疼痛緩和外科／小児外科／整形外科／形成外科／脳神経外科／小児脳神経外科／呼吸器外科／内視鏡外科／心臓血管外科／小児心臓外科／皮膚科／泌尿器科／泌尿器内視鏡科／産婦人科／胎児診療科／成育医療科／眼科／耳鼻いんこう科／頭頸部外科／リハビリテーション科／心臓リハビリテーション科／放射線診断科／放射線治療科／歯科口腔外科／病理診断科／病理診断連携科／麻酔科／小児麻酔科／産科麻酔科／救急科／救急外科／小児救急科／脳卒中内科／脳卒中外科／女性科／脳血管内治療科／臨床栄養科（68科目）（平成31年4月1日現在）
病床数	一般病床 604床（平成31年4月1日現在）
年間延べ患者数	入院 194,649人 外来 343,120人

Ⅱ 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

岐阜県総合医療センターは、岐阜地域の基幹病院として近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療を推進するため、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「周産期医療とこども医療」、「がん医療」、「女性医療」を5つの重点医療として位置づけ、救命救急センターをはじめとする6つのセンターを柱として、地域の基幹病院として急性期医療及び政策医療等を提供している。

高度先進医療機器については、稼働状況・費用対効果を勘案しながら、先進的な医療の提供と質の向上を図るため、計画的な更新・整備を進めた。

また、当センターの医療を支える優秀な医師・看護師・コメディカル等の医療スタッフを確保するため、長時間勤務の改善を図るとともに、地方独立行政法人化のメリットを活かして柔軟に必要な職員の採用を行った。

職員の質の向上については、各種職種における資格取得をはじめ、学会や研修・セミナーへの参加を積極的に支援した。また、各職員の専門性を発揮するため、院内に新たに心不全チームを設置し、チーム医療を推進した。

院内感染防止対策としては、感染制御チーム（ICT）によるラウンドを毎週実施し改善活動につなげるとともに、感染防止研修会を積極的に開催した。

患者・住民サービスについては、各部門において待ち時間の短縮への取組みを継続したほか、待ち時間短縮プロジェクトにより解析された対策案を実行に移した。また、「提案箱」に投函された患者からの意見に対しても、迅速な対応を行った。

周辺住民に対しては、「岐阜県総合医療センター運営協議会」を開催し地域住民の代表者との意見交換を実施した。また、患者満足度調査を実施し、その結果を業務改善につなげるとともにホームページで公表した。

診療体制の充実については、従来から患者の需要的確に対応できる医療を目指しており、「肝胆脾外科」「がん化学療法看護外来」等を設置し、69診療科、35の専門外来により各種症例的的確に応えられる体制とした。また、部署の名称をルール化し、分かりやすい組織体制とした。

近隣医療機関との連携については、その役割分担を明確化し紹介率77.3%、逆紹介率96.2%を達成し、地域医療支援病院として、地域医療の中核的な機能を果たした。また、地域の医療機関や介護・福祉施設との連携を強化し、積極的な退院調整や情報共有を行った。

1-2 調査研究事業

提供する医療の質及び県内の医療水準の向上等を図るため、治験事業や調査研究事業に積極的に取り組むとともに、岐阜大学の寄附講座への参加や県立看護大学との共同研究を実施した。

また、診療情報の活用として、電子カルテ等診療情報から抽出したDPCデータを使用して9診療科の分析を行った。院内の分析チームによる分析ツールを利用した解析やコンサルタントの活用により、当センターの診療内容を他院のベンチマークデータと比較することで、各診療科の医師に改善を促し、その改善状況を定量的に評価した。

1-3 教育研修事業

質の高い医療従事者の養成として、新しい医療技術の修得・研究のため、国内に医師を派遣した。医師の卒後臨床研修等の充実については、岐阜大学病院との連携を密にしながら当センター独自の研修プログラムを企画、実施したことで、初期臨床研修医32人、後期研修医（レジデント）41人を確保することができた。

また、専門医機構から基幹病院として認定された内科、小児科、整形外科において、その役割を果たした。

医学生、看護学生、コメディカルの学生の他、救命救急士等の実習受入についても積極的に行った。

1-4 地域支援事業

地域医療への支援では、高度先進医療機器の共同利用や共同診療を推進した。

また、医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援として、県立下呂温泉病院、高山赤十字病院、郡上市市民病院等に対する人的支援を継続したほか、県からへき地医療支援機構の運営を受託した。

その他にも、講師派遣など、社会的な要請に対しても、随時協力をを行い、法人が有する人材や知見を提供した。

また、県民を対象とした健康祭の開催、マスメディアやホームページを通じた情報提供、広報誌「けんこう」や地域医療連携誌「れんけい」により、保健医療情報の提供・発信を積極的に行った。

1-5 災害発生時における医療救護

基幹災害拠点病院としてその機能を発揮するため、災害対策訓練や岐阜赤十字病院等との情報共有訓練を実施するとともに、被災時において、病院機能の回復を早急に行い、継続的に診療ができるよう診療継続計画の見直しを行った。

新型インフルエンザ等対策に関しては、「新型インフルエンザ等対策準備検討委員会」を引き続き設置し、COVID-19発生時には迅速に対策本部を立ち上げるなど診療と感染対策の両輪で対応した。

1-6 医療型障害児入所施設の運営

「重症心身障がい児施設 すこやか」において、濃厚な医療的ケアが必要な重症心身障がい児の長期入所の受入及び療育・生活支援を実施するとともに、レスパイトケアのために短期入所の受け入れを実施した。また、計画どおり4階の16床を稼働させ全体で30床とし、総合療育の拠点としての機能強化に努めた。

これらをはじめ住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組については、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

2-1 効率的な業務運営体制の確立

ITの活用やアウトソーシングを適切に進めることにより経営効率が高い業務執行体制の確保に努めた。

また、医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう、弾力的な診療体制の見直しを進め、2019年度は、呼吸サポートセンター部の設置や日本神経学会の方針に対応して神経内科を脳神経内科に改称した。

コンプライアンスの徹底については、内部統制強化に向けてリスク管理委員会を開催し、法人におけるリスク管理の取組み方針を定め、リスク事象リストを作成した。

2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善

収入の確保について、現状の人員を最大限活用した新たな施設基準の届出や化学療法患者の増加により、外来診療額は対前年比104.9%、入院診療額は対前年比103.1%と増額となった。

未収金への対応については、その発生防止対策として、入院決定患者に対する入院費用や福祉制度の説明・支援などを積極的に実施した。発生した未収金については、適切に把握し督促等を実施するとともに、回収困難な未収金については、弁護士法人に委託する等厳格な対応を行った。

一方、費用の削減については、委託契約の見直しや医療機器及び診療材料におけるベンチマークを活用した価格交渉、経費圧縮等に関するアドバイザーを活用した医薬品等の購入方法の見直しにより、コスト削減を図るとともに、適正で効率的な在庫管理の徹底や後発医薬品の計画的な採用等による費用の削減を図った。

3 予算、収支計画及び資金計画

3-1 決算（2019年度）

収入については、昨年度に比較して営業収益で約10億3千万円の増額、資本収入で約9億5千万円の増額となり、収入全体で約270億円と約19億3千万円の増額となった。（年度計画に対しては約6億円の増額）

一方、支出については、昨年度に比較して営業費用で約10億7千万円の増額、資本支出で約61億9千万円の減額となり、支出全体で約258億4千万円と約51億3千万円の減額となった。（年度計画に対しては約6億8千万円の減額）

この結果、約11億6千万円の収入超過となった。（年度計画では約1億2千万円の支出超過）

3-2 収支計画に対する実績（2019年度）

収益の部については、昨年度に比較して営業収益で約10億7千万円の増額となり、収益の部全体で約252億円と約10億2千万円の増額となった。（年度計画に対しては約5億1千万円の増額）

一方、費用の部については、昨年度に比較して営業費用で約10億5千万円の増額、営業外費用で約1億8千万円の増額となり、費用の部全体で約252億6千万円と約11億1千万円の増額となった。（年度計画に対しては約6億円の増額）

この結果、約6千万円の純損失となった。（年度計画では約3千万円の純利益）

3-3 資金計画に対する実績（2019年度）

資金収入については、昨年度に比較して業務活動における収入で約11億1千万円の増額、投資活動による収入で約1億円の増額、財務活動による収入で約8億3千万円の増額となった。

一方、資金支出については、昨年度に比較して業務活動における支出で約13億2千万円の増額、投資活動による支出で約68億5千万円の減額、財務活動による支出で約6億円の増額となった。

この結果、資金収入全体及び資金支出全体で約358億1千万円と約39億1千万円の減額となり（年度計画に対しては約4億1千万円の増額）、次年度繰越金が約100億7千万円となった。（年度計画では約88億8千万円）

<目標とする経営指標>

材料費比率（材料費／医業収益）が29.1%、経常収支比率（経常収益／経常費用）が99.7%、医業収支比率（営業収益／営業費用）が104.5%、人件費比率（給与費／医業収益）が48.4%と経常収支比率はわずかに年度計画の目標を達成できなかったが、それ以外の指標については目標を達成することができた。

○経営指標比較

単位：%

項目／年度	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	2019 実績	中期計画
経常収支比率	99.6	98.8	100.1	100.4	99.7	100
医業収支比率 ※1	—	—	104.6	104.4	104.5	100
人件費比率 ※1	48.4	48.9	48.0	48.1	48.4	50
材料費比率 ※1、※2	30.9	31.4	29.4	27.8	29.1	—

※1 重症心身障がい児施設を除く

※2 H29 から高額医薬品を除く

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

職員の就労環境の整備については、職員の労働時間を適正に把握するため、タイムレコーダーを導入した。さらに、医師の労働時間短縮に向けた取り組みとして、業務と自己研鑽を明確に切り分けた。

また、医療機器・施設整備について、医療需要や費用対効果などを総合的に判断し必要な医療機器の更新を行うとともに、リニューアル更新に伴う南棟の実施設計や患者サービス向上のための総合サポートセンターの工事に着手した。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項については、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目番号	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	IV	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	IV	
1-1-3 診療体制の充実	03	IV	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	IV	
1-1-5 重点的に取り組む医療	05	IV	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	III	
1-2-2 診療情報等の活用	07	IV	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	III	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	III	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	IV	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	III	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	IV	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	III	
1-5-2 他県等の医療救護への協力	14	IV	
1-5-3 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立	15	IV	
1-5-4 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	16	IV	
1-6 医療型障害時入所施設の運営			
1-6-1 医療的ケアが求められる障がい児の医療・療育体制の整備	17	IV	
1-6-2 在宅医療支援体制の充実	18	IV	

項目	項目番号	自己評価	検証結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 効果的な組織体制の確立	19	III	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	20	III	
2-1-3 事務部門の専門性の向上	21	IV	
2-1-4 コンプライアンスの徹底	22	IV	
2-1-5 適切な情報管理	23	III	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	24	IV	
2-2-2 収入の確保	25	IV	
2-2-3 費用の削減	26	IV	
3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画	27	III	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の就労環境の向上	28	IV	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	29	III	
8-3 医療機器・施設整備に関する事項	30	IV	
8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	31	III	

IV 財務情報及び人員に関する情報

指標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
経常収益 (千円)	22,276,573	22,803,087	23,289,375	24,119,430	25,194,017
経常費用 (千円)	22,364,719	23,075,752	23,264,341	24,024,412	25,257,725
経常利益 (千円)	▲88,146	▲272,665	25,034	95,018	▲63,707
従事人員数 (年度当初)	1,373	1,438	1,436	1,454	1,538

V 項目別の状況

主な指標 (1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組)								
項目	指標	達成目標 (中期目標・中期計画)	(参考) 前中期目標最終年度値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	逆紹介率	70%以上	83.1%	84.2%	94.1%	99.2%	98.1%	96.2%
	在宅復帰率	75%以上	92.7%	93.3%	94.1%	94.5%	95.0%	95.0%
主な指標 (2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組)								
項目	指標	達成目標 (中期目標・中期計画)	(参考) 前中期目標最終年度値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	逆紹介率 ※再掲	70%以上	83.1%	84.2%	94.1%	99.2%	98.1%	96.2%
主な指標 (3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画)								
項目	指標	達成目標 (中期目標・中期計画)	(参考) 前中期目標最終年度値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	医業収支比率	100%以上	105.3%	104.2%	103.6%	104.6%	104.4%	104.5%
	職員給与費対医業収益比率	50%以下	47.5%	48.4%	48.9%	48.0%	48.1%	48.4%

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期目標	<p>1-1 診療事業 岐阜地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度・先進医療、急性期医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>※ より質の高い医療の提供 法人が有する医師、看護師、コメディカル等や、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保や各職種の専門性の向上を図るための教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの推進、チーム医療体制の充実、メディカカードの導入などITの活用に努めること。 さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、院内感染対策など医療安全対策を徹底すること。</p> <p>※ 患者・住民サービスの向上 来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。 また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。</p> <p>※ 診療体制の充実 医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実を図ること。</p> <p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリティカルパスの活用など地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて岐阜地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。 また、救急医療コミュニティシステムを利用した医療画像等の患者情報の共有など他の医療機関との連携による医療提供の促進を図ること。 さらに、円滑に在宅医療・療養へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。</p> <p>※ 重点的に取り組む医療 高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。 特に、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「周産期医療」、「がん医療」及び「女性と子ども医療」を重点医療として位置付け、さらに充実・強化して高度で先進的な医療を提供すること。 なお、子ども医療については、小児救命救急センターの設置など、拠点としての機能の一層の充実を図ること。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

項目No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																		
01	<p>※ より質の高い医療の提供</p> <p>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた</p>	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>・看護師の確保については、年度途中の退職者を見込み年度当初に97人、年度途中4人採用することで、長時間勤務やローテーション維持等についての改善を図るとともに、診療報酬の要件である7:1看護体制を上回る体制を確保できた。</p> <p>・定年退職した医師を再雇用することで、人員の確保に努めた。</p> <p>○医療従事者の確保状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤医師数</td> <td>167</td> <td>166</td> <td>171</td> <td>175</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	常勤医師数	167	166	171	175	180	<p>1 先進的な医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>・高額な機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案するとともに、人材育成を見据えた視点から先進医療機器を整備し、医療の先進性と質の向上を図った。</p> <p>○代表的な更新・整備機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名等</th> <th>金額</th> <th>整備目的・用途等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PET-CT装置</td> <td>317百万円</td> <td>悪性腫瘍、心臓等の検査に使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>※3千万円以上の高額機器(税抜)</p>	機器名等	金額	整備目的・用途等	PET-CT装置	317百万円	悪性腫瘍、心臓等の検査に使用	IV	<p>医師、看護師の確保や看護師の資格取得体制及び医療安全体制の充実に加え、その他にも継続的な取組ができており、項目全体で特に進捗していると評価。</p>
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																		
常勤医師数	167	166	171	175	180																		
機器名等	金額	整備目的・用途等																					
PET-CT装置	317百万円	悪性腫瘍、心臓等の検査に使用																					

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況					その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)							自己評価	自己評価理由		
	医師の養成	うち再雇用医師	0	0	1	3	5	○更新・整備を実施した機器の稼働件数 単位：件									
		常勤歯科医師数	3	3	3	3	3	機器名/年度	年度	H27	H28	H29	H30	2019			
4	認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進	常勤看護師数	597	609	600	613	652	内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	H24	131	131	119	132	128			
		常勤コメディカル数	173	193	200	217	231	X線CT装置	H25	26,476	19,368	19,509	21,262	23,026			
5	コメディカルに対する専門研修の実施	医療クラーク	53	54	55	56	59	エシメラー血管形成装置	H25	14	24	20	46	24			
		看護補助職員	106	106	97	98	104	ハイブリッド手術システム	H25	700	655	607	574	601			
		※年度末現在						手術用顕微鏡	H26	96	146	132	159	221			
6	E BMの推進	4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進						循環器画像保存システム	H26	2,454	2,571	2,681	2,764	2,692			
7	専門性を発揮したチーム医療の推進	・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的に認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を確保した。特に認定看護管理者の育成に努めた。						内視鏡ナビゲーションシステム	H26	8,518	8,454	8,649	8,777	9,226			
8	メディカカードの導入などのITの活用							全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)(H28.3稼働)	H27	96	812	1,468	1,717	1,996			
9	医療安全対策の充実							全身用コンピューター断層装置(CT装置)(H28.3稼働)	H27	316	10,315	11,299	11,952	11,039			
10	院内感染防止対策の確立							心臓血管撮影装置(カ室2)(H28.1稼働)	H27	263	1,109	1,092	1,205	1,138			
								心臓血管撮影装置(カ室3)(H29.1稼働)	H28	—	201	806	811	786			
								血管撮影装置(H29.10稼働)	H29	—	—	121	315	356			
								ガンマカメラ(H30.2稼働)	H29	—	—	327	1,604	1,422			
								注射薬自動払出装置	H29	—	—	131	365	366			

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)					自己評価	自己評価理由																																																																																																																																																																																																																								
		<p>○認定看護師等資格取得者在籍状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>がん化学療法</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん放射線療法看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>乳がん看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>慢性心不全</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認知症</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリテーション</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小児看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>特定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>創傷管理モデル</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>○研修実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td> 【長期】 ・手術看護 2019.10～2020.3 2人 ・がん性疼痛看護 2019.10～2020.3 1人 </td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	認定						がん化学療法	2	2	2	2	3	がん性疼痛	1	1	1	1	1	感染管理	3	3	3	3	3	救急看護	2	2	2	2	2	小児救急	1	1	1	1	1	摂食・嚥下障害	1	1	1	1	1	皮膚・排泄ケア	3	3	3	3	3	新生児集中ケア	1	1	1	1	2	集中ケア	1	2	3	3	3	糖尿病看護	1	1	1	1	1	がん放射線療法看護	1	1	1	1	1	乳がん看護	1	1	1	1	1	認定看護管理者	2	2	2	2	2	慢性心不全	1	1	1	1	1	緩和ケア	1	1	1	1	1	認知症	0	0	1	2	2	脳卒中リハビリテーション	0	0	0	0	1	計	22	23	25	26	29	専門						小児看護	2	2	2	2	2	がん看護	1	1	1	1	1	計	3	3	3	3	3	特定						創傷管理モデル	0	0	0	0	1	計	0	0	0	0	1	合計	25	26	28	29	33	項目	内 容	認定看護師	【長期】 ・手術看護 2019.10～2020.3 2人 ・がん性疼痛看護 2019.10～2020.3 1人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>○医師の研修派遣・受入実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>○専門医や研修指導医等の取得に向けた研修、学会・セミナー等の派遣実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>916</td> <td>804</td> <td>876</td> <td>877</td> <td>843</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	派遣	3	4	2	3	1	受入	5	6	5	3	2	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	派遣	3	4	2	3	1	受入	5	6	5	3	2		H27	H28	H29	H30	2019		916	804	876	877	843		
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																																																																																																												
認定																																																																																																																																																																																																																																	
がん化学療法	2	2	2	2	3																																																																																																																																																																																																																												
がん性疼痛	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																												
感染管理	3	3	3	3	3																																																																																																																																																																																																																												
救急看護	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																												
小児救急	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																												
摂食・嚥下障害	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																												
皮膚・排泄ケア	3	3	3	3	3																																																																																																																																																																																																																												
新生児集中ケア	1	1	1	1	2																																																																																																																																																																																																																												
集中ケア	1	2	3	3	3																																																																																																																																																																																																																												
糖尿病看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																												
がん放射線療法看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																												
乳がん看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																												
認定看護管理者	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																												
慢性心不全	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																												
緩和ケア	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																												
認知症	0	0	1	2	2																																																																																																																																																																																																																												
脳卒中リハビリテーション	0	0	0	0	1																																																																																																																																																																																																																												
計	22	23	25	26	29																																																																																																																																																																																																																												
専門																																																																																																																																																																																																																																	
小児看護	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																												
がん看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																												
計	3	3	3	3	3																																																																																																																																																																																																																												
特定																																																																																																																																																																																																																																	
創傷管理モデル	0	0	0	0	1																																																																																																																																																																																																																												
計	0	0	0	0	1																																																																																																																																																																																																																												
合計	25	26	28	29	33																																																																																																																																																																																																																												
項目	内 容																																																																																																																																																																																																																																
認定看護師	【長期】 ・手術看護 2019.10～2020.3 2人 ・がん性疼痛看護 2019.10～2020.3 1人																																																																																																																																																																																																																																
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																																																																																																												
派遣	3	4	2	3	1																																																																																																																																																																																																																												
受入	5	6	5	3	2																																																																																																																																																																																																																												
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																																																																																																												
派遣	3	4	2	3	1																																																																																																																																																																																																																												
受入	5	6	5	3	2																																																																																																																																																																																																																												
	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																																																																																																												
	916	804	876	877	843																																																																																																																																																																																																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																		
		<table border="1" data-bbox="685 248 1099 667"> <thead> <tr> <th colspan="5">【短期】</th> <th colspan="5">単位：人</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> <th colspan="5"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護管理者(1st)</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者(2nd)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者(3rd)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>医療安全研修</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="528 667 1099 887"> 学会等参加 <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護学会 ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・研修会、セミナー ・その他 看護学会等 H28:延べ819人→H29:延べ904人 →H30:延べ835人→2019:延べ852人 </p> <p data-bbox="528 922 1144 1050"> 7 専門性を発揮したチーム医療の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・異なる職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することにより、治療やケアに当たることができた。 ・2019年度、新たに心不全チームを設置した。 <主な医療チーム> ICT、緩和ケアチーム、呼吸器ケアチーム、褥瘡ケアチーム、口腔ケアチーム、NSTチーム、摂食嚥下チーム、認知症ケアチーム、AST、早期離床リハビリテーションチーム、心不全チーム </p> <p data-bbox="528 1286 1144 1415"> 8 メディカカードの導入等のITの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・救急医療現場での活用を図るため、心臓疾患の患者にメディカカードの作成を勧めるよう努めた。(2019年度未現在の発行枚数は12枚) </p>	【短期】					単位：人						H28	H29	H30	2019						認定看護管理者(1st)	0	3	4	4						認定看護管理者(2nd)	0	0	1	0						認定看護管理者(3rd)	0	0	1	1						医療安全研修	3	1	1	1						<p data-bbox="1167 248 1783 280">○専門研修への参加状況 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="1167 280 1783 600"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>214</td> <td>231</td> <td>227</td> <td>277</td> <td>239</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師：中央検査部</td> <td>146</td> <td>137</td> <td>129</td> <td>127</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>検査技師：病理センター</td> <td></td> <td>37</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>23</td> <td>50</td> <td>36</td> <td>20</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>58</td> <td>43</td> <td>49</td> <td>42</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>94</td> <td>174</td> <td>145</td> <td>236</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>547</td> <td>687</td> <td>647</td> <td>758</td> <td>639</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1167 632 1783 663">○主な専門研修・講習会等</p> <p data-bbox="1167 663 1783 1134"> 【中央放射線部】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本放射線技術学会 ・全国自治体病院放射線部会研修会 ・日本放射線治療セミナー ・日本核医学学術総会 ・日本磁気共鳴医学会 ・医学物理士ミニマム講習会 ・診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会 ・業務拡大に伴う統一講習会 ・PET研修セミナー ・医療安全管理者養成研修会 ・画像等手術支援認定講習会 ※資格取得者 <ul style="list-style-type: none"> ・アドバンス診療放射線技師 H29:1人→H30:1人→2019:0人 ・放射線被曝相談員 2019:1人 </p> <p data-bbox="1167 1134 1783 1415"> 【中央検査部】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床衛生検査技師会 ・日本超音波学会 ・日本超音波検査学会 ・心臓リハビリテーション学会 ・日本臨床微生物学会 ・日本臨床検査医学会 ・日本輸血・細胞治療学会 ・日本心エコー図学会 </p>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	薬剤師	214	231	227	277	239	臨床検査技師：中央検査部	146	137	129	127	117	検査技師：病理センター		37	41	41	31	臨床工学技士	23	50	36	20	40	リハビリ技師	58	43	49	42	36	管理栄養士	12	15	20	15	13	放射線技師	94	174	145	236	163	合計	547	687	647	758	639		
【短期】					単位：人																																																																																																																		
	H28	H29	H30	2019																																																																																																																			
認定看護管理者(1st)	0	3	4	4																																																																																																																			
認定看護管理者(2nd)	0	0	1	0																																																																																																																			
認定看護管理者(3rd)	0	0	1	1																																																																																																																			
医療安全研修	3	1	1	1																																																																																																																			
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																		
薬剤師	214	231	227	277	239																																																																																																																		
臨床検査技師：中央検査部	146	137	129	127	117																																																																																																																		
検査技師：病理センター		37	41	41	31																																																																																																																		
臨床工学技士	23	50	36	20	40																																																																																																																		
リハビリ技師	58	43	49	42	36																																																																																																																		
管理栄養士	12	15	20	15	13																																																																																																																		
放射線技師	94	174	145	236	163																																																																																																																		
合計	547	687	647	758	639																																																																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H31（2019）年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																															
		<p>・平成29年度及び平成30年度に整備した遠隔画像コンサルテーションシステムを積極的に活用し、準夜帯及び深夜帯の院内専門医不在時における画像コンサルテーションを、外部の放射線専門医に依頼することにより、安全かつ質の高い医療を提供した。2019年度は3,360件のCT・MRI検査画像のコンサルテーション依頼を行った。</p> <p>○救急の外部コンサルテーション依頼数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>1,577</td> <td>2,983</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>141</td> <td>377</td> </tr> </tbody> </table> <p>9 医療安全対策の充実</p> <p>・医療安全対策として、必要に応じてマニュアルの見直しを行うとともに、その遵守状況を把握し、マニュアルの運用遵守を徹底した。</p> <p>・医療事故調査に当たっては、重大事故のみならず、すべての死亡例について医療安全部で検討し、必要があれば担当医等にヒアリングを実施している。</p> <p>・発生したインシデント・アクシデント事案については、医療安全管理委員会で検討したうえで、病棟会議や医療安全便りを通じて全職員に周知を図った。特に、重大事例につながる事案については、発生原因を明らかにし、再発防止とリスクを回避する方策を検討した。</p> <p>○インシデント・アクシデント報告数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レベル0</td> <td>427</td> <td>408</td> <td>406</td> <td>670</td> <td>869</td> </tr> <tr> <td>レベル1</td> <td>2,008</td> <td>1,802</td> <td>1,850</td> <td>2,021</td> <td>2,237</td> </tr> <tr> <td>レベル2</td> <td>540</td> <td>565</td> <td>504</td> <td>484</td> <td>581</td> </tr> <tr> <td>レベル3 a</td> <td>340</td> <td>326</td> <td>300</td> <td>293</td> <td>278</td> </tr> <tr> <td>小計（インシデント）</td> <td>3,315</td> <td>3,101</td> <td>3,060</td> <td>3,468</td> <td>3,965</td> </tr> <tr> <td>レベル3 b</td> <td>72</td> <td>79</td> <td>84</td> <td>79</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>レベル4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>レベル5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	H30	2019	CT	1,577	2,983	MRI	141	377	項目／年度	H27	H28	H29	H30	2019	レベル0	427	408	406	670	869	レベル1	2,008	1,802	1,850	2,021	2,237	レベル2	540	565	504	484	581	レベル3 a	340	326	300	293	278	小計（インシデント）	3,315	3,101	3,060	3,468	3,965	レベル3 b	72	79	84	79	84	レベル4	2	1	1	1	3	レベル5	4	4	9	2	2	<p>・日本検査血液学会</p> <p>・全国自治体病院学会</p> <p>・岐阜県病院協会医学会</p> <p>※資格取得者</p> <p>・超音波検査士（循環器領域他）H30:2人→2019:4人</p> <p>・認定心電図専門士 2019:2人</p> <p>・検査採取等に関する厚生労働省指定講習会修了者 H29:3人→H30:4人→2019:5人</p> <p>【病理センター】</p> <p>・日本臨床衛生検査技師会</p> <p>・日本臨床細胞学会</p> <p>・認定病理検査技師講習会</p> <p>※資格取得者</p> <p>・認定病理検査技師 H30:1人→2019:0人</p> <p>・細胞検査士 2019:1人</p> <p>【薬剤センター】 (マネジメント)</p> <p>・全自病 薬剤管理研修会 (薬剤業務全般)</p> <p>・日病薬 新任薬剤師研修会</p> <p>・日本医療薬学会年会</p> <p>・日病薬 日薬東海ブロック合同学術大会</p> <p>・日本麻酔科学会 周術期セミナー</p> <p>・岐阜県病院協会医学会</p> <p>・岐阜県病院薬剤師会研修会</p> <p>・自治体病院薬剤師会研修会</p> <p>・日本小児臨床薬理学会</p> <p>・日本緩和医療薬学会</p> <p>・日本化学療法学会</p> <p>・日本臨床救急医学会</p> <p>・日本腎臓病薬物療法学会 (医療安全)</p> <p>・医療安全管理者養成講習会</p> <p>※資格取得者</p> <p>・外来がん治療認定薬剤師 H30:1人→2019:0人</p> <p>・日病薬 病院薬学認定薬剤師 H30:14人→2019:6人</p> <p>・がん専門薬剤師 H30:1人→2019:1人</p>		
項目／年度	H30	2019																																																																		
CT	1,577	2,983																																																																		
MRI	141	377																																																																		
項目／年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																															
レベル0	427	408	406	670	869																																																															
レベル1	2,008	1,802	1,850	2,021	2,237																																																															
レベル2	540	565	504	484	581																																																															
レベル3 a	340	326	300	293	278																																																															
小計（インシデント）	3,315	3,101	3,060	3,468	3,965																																																															
レベル3 b	72	79	84	79	84																																																															
レベル4	2	1	1	1	3																																																															
レベル5	4	4	9	2	2																																																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																								
		<table border="1" data-bbox="517 252 1122 389"> <tr> <td>その他(合併症等)</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>45</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>小計(アグデント)</td> <td>78</td> <td>86</td> <td>99</td> <td>127</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,393</td> <td>3,187</td> <td>3,159</td> <td>3,595</td> <td>4,077</td> </tr> <tr> <td>合計(医師のみ)</td> <td>115</td> <td>121</td> <td>113</td> <td>220</td> <td>209</td> </tr> </table> <p data-bbox="517 427 1122 576"> ・医療安全研修会を積極的に開催し、多数の参加を得た。 H28:16回 延べ3,621人 → H29:18回 延べ2,960人 → H30:16回 延べ2,996人 → 2019:17回 延べ3,320人 ・また、医療安全に関するポスター掲示や毎月の医療安全標語により、さらなる安全意識の向上を図っている。 </p>	その他(合併症等)	0	2	11	45	23	小計(アグデント)	78	86	99	127	112	合計	3,393	3,187	3,159	3,595	4,077	合計(医師のみ)	115	121	113	220	209	<p data-bbox="1167 252 1783 344"> ・緩和薬物療法認定薬剤師 2019:1人 ・糖尿病療養指導士 2019:1人 ・周術期管理チーム認定薬剤師 2019:1人 </p> <p data-bbox="1167 347 1783 596"> 【中央リハビリテーション部】 ・日本ハンドセラピスト学会 ・日本理学療法学会 ・日本集中治療医学会 ・日本呼吸ケアリハビリテーション学会 ・日本心臓リハビリテーション学会 ※資格取得者 ・呼吸療法認定士 H29:1人→H30:1人→2019:5人 </p> <p data-bbox="1167 600 1783 944"> 【栄養センター】 ・全国自治体病院学会 ・岐阜県病院協会医学会 ・日本心臓リハビリ学会学術集会 ・日本静脈経腸栄養学会 ・日本病態栄養学会年次学術集会 ・がん専門管理栄養士セミナー ※資格取得者 ・病態栄養専門管理栄養士 H29:1人→H30:1人→2019:1人 ・がん病態栄養専門管理栄養士 H30:2人→2019:0人 ・心臓リハビリテーション指導士 2019:1人 </p> <p data-bbox="1167 948 1783 1228"> 【臨床工学部】 ・日本臨床工学技士会 ・岐阜県臨床工学技士会セミナー ・岐阜県臨床工学技士会学術大会 ・医療機器安全基礎講習会(ME技術講習会) ・透析液安全管理責任者セミナー ・日本人工臓器学会教育セミナー ※資格取得者 ・認定ホスピタルエンジニア H29:1人→H30:1人→2019:0人 </p> <p data-bbox="1167 1264 1783 1417"> 6 EBMの推進 ・医療の質の向上を目指したクリニカルパスの作成方法の習得を推進し、チーム医療の意識浸透を図ることを目的とする研修会を実施する予定であったが、COVID-19の影響で中止となった。 </p>		
その他(合併症等)	0	2	11	45	23																								
小計(アグデント)	78	86	99	127	112																								
合計	3,393	3,187	3,159	3,595	4,077																								
合計(医師のみ)	115	121	113	220	209																								

項目 No.	中期計画の取組項目	H31（2019）年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由										
			<p>・クリニカルパス大会を開催する予定であったが、COVID-19の影響で中止となった。</p> <p>○クリニカルパス種類数 単位：種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>336</td> <td>337</td> <td>341</td> <td>336</td> <td>358</td> </tr> </tbody> </table> <p>10 院内感染防止対策の確立 <新生児センター> ・毎週火曜日、監視培養を継続的に実施している。 ・MRSA新規検出は、平成30年度は40名（院内伝播27名、持ち込み13名）、2019年度は27名（院内伝播20名、持ち込み7名）であった。減少率は32.5%だった。</p> <p><その他> ・毎週ICTラウンドを行い、全病棟ラウンドは2週に1回実施し、前週に改善して欲しいところを1つ指摘、後週で指摘事項が改善されたかを確認した。指摘事項は紙面で報告し、改善報告も紙面に残した。 ・感染制御支援システムを活用し、接触患者リストの作成や菌検出推移の把握を行うとともに、カテーテルなどのデバイス数をカウントし、各部署における感染率の経過を把握した。 ・感染症専門医による抗菌薬の適正指導や、手指消毒剤使用量が増加したが、新規MRSA検出数が平成30年度163件から2019年度179件と8.9%増加した。 ・感染防止研修会を積極的に開催し、多数の参加を得た。 H28:25回 延べ3,575人 → H29: 45回 延べ 3,057人 → H30:38回 延べ2,971人 → 2019:45回 延べ3,026人 ・感染防止研修会（基本）に未参加の職員4名に対して課題レポート提出としたが、3名（医師）は未提出だった。</p>	H27	H28	H29	H30	2019	336	337	341	336	358		
H27	H28	H29	H30	2019											
336	337	341	336	358											
02	<p>※ 患者・住民サービスの向上</p> <p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <p>2 院内環境の快適性の向上</p>	<p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 <外来部門> ・検査・診察・治療を患者に合わせたきめ細かい対応を行うことによって、院内滞在時間の縮減を図る取組を継続した。</p>	<p>2 院内環境の快適性の向上 ・患者や来院者により快適な環境を提供するため、以下の設備改修・補修を行った。 すこやか2階男女トイレに幼児用の手洗器を設置 本館5階の食堂に手術時等長時間待機用として畳コーナーを設置</p>	IV	各部門による待ち時間短縮への取組の継続及び医療相談件数の大幅な増加に加え、その他にも継続的な取組が実施できており、項目全										

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																				
	3 医療に関する相談体制の充実 4 患者中心の医療の提供 5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映	<ul style="list-style-type: none"> 検査が必要な患者に対しては検査を先に実施 看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施 入院患者に対する説明の一元化 病診連携による紹介患者については、診察予約時間30分以内の診察を徹底 <p>・待ち時間の有効活用に向けた取組を継続した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 待ち時間に待合場所を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを実施 診療科に即したパンフレットや図書を配置 <p>・医療機関からの外来予約について、インターネットを活用した受付を小児科において継続実施した。</p> <p>・患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施するとともに、システムによる待ち時間の把握を年4回実施し、状況の把握に努めた。調査の結果、外来患者数増加の影響で患者満足度調査では平均待ち時間がやや増加したが、システムによる調査では30分未満の待ち時間患者の割合はやや増加した。</p> <p>○患者満足度調査による平均待ち時間 単位：分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28</td> <td>27</td> <td>24</td> <td>35</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>※予約時刻と実際の診療開始時刻までの時間</p> <p>○システムによる待ち時間別患者構成率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月/待ち時間</th> <th>～30分</th> <th>30～2時間</th> <th>2時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28.1</td> <td>41.2</td> <td>49.2</td> <td>9.6</td> </tr> <tr> <td>H29.1</td> <td>51.1</td> <td>43.0</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>H30.1</td> <td>47.4</td> <td>45.8</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>H31.1</td> <td>47.9</td> <td>45.5</td> <td>6.6</td> </tr> <tr> <td>2020.1</td> <td>51.5</td> <td>41.2</td> <td>7.3</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	H30	2019	28	27	24	35	36	年月/待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～	H28.1	41.2	49.2	9.6	H29.1	51.1	43.0	5.9	H30.1	47.4	45.8	6.8	H31.1	47.9	45.5	6.6	2020.1	51.5	41.2	7.3	<p>本館9階東病棟個室に転倒防止のための手摺を設置 案内表示の見直しと更新</p> <ul style="list-style-type: none"> レストランや職員食堂の運営主体変更やメニューの充実を図ることで、利用者数がそれぞれ約10%増加した。 治療効果を上げるため、病名と病態にあった病院給食を提供できるように入院時のチェック体制を強化し、栄養管理の充実を図った。 患者の嗜好に配慮した病院給食とするため、2019年度嗜好調査や行食事提供時の意見収集を実施し、メニューの改善を図った。 2019年度「提案箱」に467件(感謝154件、意見159件、苦情154件)の意見が寄せられた。毎日回収し、すみやかに改善を実施することで、回収から2週間後には院内に掲示することができた。また、職員へのフィードバックについては、1か月分をまとめて管理会議で報告し、周知を図った。 <p>4 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者の権利や個人情報保護に関する方針をロビーやホームページに掲示した。 <p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> インフォームド・コンセントを徹底するとともに、他病院のセカンドオピニオンを受けやすい環境を整備した。 <p>○セカンドオピニオン実施件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>30</td> <td>28</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>59</td> <td>71</td> <td>65</td> <td>74</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県総合医療センター運営協議会を1回開催し、地域の代表者等と意見交換を実施した。 2019年7月に病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する患者満足度調査を実施し、その結果をホームページで公表するとともに、身だしなみチェックやあいさつの啓発等具体 	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	外来受入	23	26	30	28	30	他院紹介	59	71	65	74	50		<p>体で特に進捗していると評価。</p>
H27	H28	H29	H30	2019																																																					
28	27	24	35	36																																																					
年月/待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～																																																						
H28.1	41.2	49.2	9.6																																																						
H29.1	51.1	43.0	5.9																																																						
H30.1	47.4	45.8	6.8																																																						
H31.1	47.9	45.5	6.6																																																						
2020.1	51.5	41.2	7.3																																																						
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																				
外来受入	23	26	30	28	30																																																				
他院紹介	59	71	65	74	50																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H31（2019）年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																														
		<p>・待ち時間短縮取り組みの一環として富士通が提供するフィールド・イノベーション・サービスを活用したデータ分析結果に基づき、各診療科に応じた対策を実施した。</p> <p><中央検査部門></p> <p>・超音波検査（生理検査部門）技師の増員を維持することで、待ち時間の短縮に努力し、60分未満の患者割合が増加した。 H28：9.5人 → H29：12人 → H30：12人 → 2019：14人</p> <p>・待ち時間の短縮を図るため、採血開始時間を8時とする取組を継続するとともに、混雑時職員7人、6ブース（常時）で行った。また、精神科スペースを使用して2ブース（臨時）を2日/週開設した。 H29：6ブース → H30：6ブース → 2019：6ブース（常時）</p> <p>・術前の心機能評価依頼の基準を定めることにより、必要度の低い心臓超音波検査の依頼件数を抑えた。</p> <p>○超音波検査件数（外来分） H28：19,684件 → H29：20,542件（前年比4.4%増） → H30：22,007件（前年比7.1%増） → 2019：21,985件（前年比0.1%減）</p> <p>○超音波検査待ち時間の推移</p> <table border="1" data-bbox="517 1018 1140 1161"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>総数</th> <th>60分未満</th> <th>～90分</th> <th>90分超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>26,696件</td> <td>81.8%</td> <td>14.9%</td> <td>3.3%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>27,858件</td> <td>84.1%</td> <td>12.8%</td> <td>3.1%</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>26,155件</td> <td>86.8%</td> <td>11.0%</td> <td>2.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p><中央放射線部門></p> <p>・CT検査での予約枠を検査内容で装置ごとに振り分ける取組や、MRI検査での時間外検査枠を設ける取組を継続した。</p> <p>○検査件数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="517 1361 1140 1437"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>CT 外来</th> <th>CT 入院</th> <th>MRI 外来</th> <th>MRI 入院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>30,425</td> <td>7,074</td> <td>12,334</td> <td>2,664</td> </tr> </tbody> </table>	年度/項目	総数	60分未満	～90分	90分超	H29	26,696件	81.8%	14.9%	3.3%	H30	27,858件	84.1%	12.8%	3.1%	2019	26,155件	86.8%	11.0%	2.2%	年度/項目	CT 外来	CT 入院	MRI 外来	MRI 入院	H27	30,425	7,074	12,334	2,664	<p>的な取組を実施した。</p>		
年度/項目	総数	60分未満	～90分	90分超																															
H29	26,696件	81.8%	14.9%	3.3%																															
H30	27,858件	84.1%	12.8%	3.1%																															
2019	26,155件	86.8%	11.0%	2.2%																															
年度/項目	CT 外来	CT 入院	MRI 外来	MRI 入院																															
H27	30,425	7,074	12,334	2,664																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																				
		<table border="1"> <tr><td>H28</td><td>31,185</td><td>6,878</td><td>10,636</td><td>2,067</td></tr> <tr><td>H29</td><td>32,696</td><td>7,436</td><td>10,835</td><td>2,068</td></tr> <tr><td>H30</td><td>34,946</td><td>7,938</td><td>11,517</td><td>1,943</td></tr> <tr><td>2019</td><td>36,792</td><td>7,889</td><td>12,005</td><td>1,870</td></tr> </table> <p><手術部門></p> <ul style="list-style-type: none"> 手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用や手術機材のキット化により手術待ち時間や手術準備時間の短縮を図る取組を継続した。 <p>○時間内手術室稼働率・総手術件数</p> <table border="1"> <tr><th>項目/年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>2019</th></tr> <tr><td>稼働率(単位:%)</td><td>68.7</td><td>66.8</td><td>69.6</td><td>74.1</td><td>72.9</td></tr> <tr><td>件数(単位:件)</td><td>7,325</td><td>7,264</td><td>7,342</td><td>7,534</td><td>7,777</td></tr> </table> <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週木曜日にカンファレンスを開催し、医療相談に係る問題事項についての協議を行った。 <p>○医療相談件数 単位:件</p> <table border="1"> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>2019</th></tr> <tr><td>4,687</td><td>4,914</td><td>4,794</td><td>4,870</td><td>5,606</td></tr> </table> <p>○カンファレンスで協議した事項及び件数 単位:件</p> <table border="1"> <tr><th>項目/年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>2019</th></tr> <tr><td>病院の環境</td><td>5</td><td>3</td><td>3</td><td>6</td><td>3</td></tr> <tr><td>患者等からの相談</td><td>32</td><td>28</td><td>18</td><td>14</td><td>13</td></tr> <tr><td>患者相談対応力向上のための事例検討</td><td>7</td><td>17</td><td>8</td><td>22</td><td>48</td></tr> <tr><td>患者等からの苦情</td><td>40</td><td>39</td><td>52</td><td>83</td><td>73</td></tr> <tr><td>その他</td><td>22</td><td>12</td><td>24</td><td>10</td><td>10</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 外国人の受診を支援するため、県国際交流センターに医療通訳ボランティアの派遣を引き続き依頼するとともに、職員による対 	H28	31,185	6,878	10,636	2,067	H29	32,696	7,436	10,835	2,068	H30	34,946	7,938	11,517	1,943	2019	36,792	7,889	12,005	1,870	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	稼働率(単位:%)	68.7	66.8	69.6	74.1	72.9	件数(単位:件)	7,325	7,264	7,342	7,534	7,777	H27	H28	H29	H30	2019	4,687	4,914	4,794	4,870	5,606	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	病院の環境	5	3	3	6	3	患者等からの相談	32	28	18	14	13	患者相談対応力向上のための事例検討	7	17	8	22	48	患者等からの苦情	40	39	52	83	73	その他	22	12	24	10	10			
H28	31,185	6,878	10,636	2,067																																																																																					
H29	32,696	7,436	10,835	2,068																																																																																					
H30	34,946	7,938	11,517	1,943																																																																																					
2019	36,792	7,889	12,005	1,870																																																																																					
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																				
稼働率(単位:%)	68.7	66.8	69.6	74.1	72.9																																																																																				
件数(単位:件)	7,325	7,264	7,342	7,534	7,777																																																																																				
H27	H28	H29	H30	2019																																																																																					
4,687	4,914	4,794	4,870	5,606																																																																																					
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																				
病院の環境	5	3	3	6	3																																																																																				
患者等からの相談	32	28	18	14	13																																																																																				
患者相談対応力向上のための事例検討	7	17	8	22	48																																																																																				
患者等からの苦情	40	39	52	83	73																																																																																				
その他	22	12	24	10	10																																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H31（2019）年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																															
		<p>応を行った。特に職員による対応件数がさらに増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合案内、初診受付、救外受付に新たに翻訳アプリ搭載のタブレットを計4台の配備を継続した。 ・電話による通訳サービスを継続し、通訳担当職員不在時（夜間休日）などにも対応できるよう努めた。 <p>○医療通訳病院職員対応件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国語</td> <td>145</td> <td>205</td> <td>227</td> <td>223</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>255</td> <td>200</td> <td>342</td> <td>335</td> </tr> <tr> <td>スペイン語、他</td> <td>227</td> <td>383</td> <td>338</td> <td>441</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>627</td> <td>788</td> <td>907</td> <td>999</td> </tr> </tbody> </table> <p>※雇用 H28.4～:1人（非常勤事務職） → H29.10～:1人（医療通訳業務専門職）</p> <p>○医療通訳ボランティア派遣依頼件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポルトガル語</td> <td>258</td> <td>184</td> <td>205</td> <td>228</td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>タガログ語</td> <td>50</td> <td>28</td> <td>48</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>331</td> <td>212</td> <td>253</td> <td>232</td> <td>246</td> </tr> </tbody> </table> <p>○電話通訳サービス利用件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポルトガル語</td> <td>25</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>タガログ語</td> <td>13</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ベトナム語</td> <td>27</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>9</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>スペイン語</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>77</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H30.7.1 サービス開始</p>	項目／年度	H28	H29	H30	2019	中国語	145	205	227	223	英語	255	200	342	335	スペイン語、他	227	383	338	441	合計	627	788	907	999	項目／年度	H27	H28	H29	H30	2019	ポルトガル語	258	184	205	228	244	中国語	23	0	0	0	0	タガログ語	50	28	48	4	2	合計	331	212	253	232	246	項目／年度	H30	2019	ポルトガル語	25	7	中国語	0	2	タガログ語	13	5	ベトナム語	27	0	英語	9	1	スペイン語	3	4	合計	77	19			
項目／年度	H28	H29	H30	2019																																																																																
中国語	145	205	227	223																																																																																
英語	255	200	342	335																																																																																
スペイン語、他	227	383	338	441																																																																																
合計	627	788	907	999																																																																																
項目／年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																															
ポルトガル語	258	184	205	228	244																																																																															
中国語	23	0	0	0	0																																																																															
タガログ語	50	28	48	4	2																																																																															
合計	331	212	253	232	246																																																																															
項目／年度	H30	2019																																																																																		
ポルトガル語	25	7																																																																																		
中国語	0	2																																																																																		
タガログ語	13	5																																																																																		
ベトナム語	27	0																																																																																		
英語	9	1																																																																																		
スペイン語	3	4																																																																																		
合計	77	19																																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																								
03	<p>※ 診療体制の充実</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p>	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者動向や医療需要の変化に対応した組織改編等に積極的に取り組んだことにより、患者に対してよりきめ細やかなサービスを提供することができた。また、部署の名称をルール化し、分かりやすい組織体制とした。 <p>○組織・診療科等の新設等</p> <table border="1"> <tr> <td>【事務局】</td> </tr> <tr> <td>・診療情報管理担当(医事課)</td> </tr> <tr> <td>【診療部門】</td> </tr> <tr> <td>・肝胆膵外科</td> </tr> <tr> <td>・臨床検査科</td> </tr> <tr> <td>・呼吸サポートセンター部</td> </tr> <tr> <td>・がん化学療法看護外来</td> </tr> </table>	【事務局】	・診療情報管理担当(医事課)	【診療部門】	・肝胆膵外科	・臨床検査科	・呼吸サポートセンター部	・がん化学療法看護外来	<p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 年俸制による雇用制度を活用し、高度な専門性を有する医師を引き続き登用した。 年俸制医師 H28:7人→H29:7人→H30:6人→2019:8人 職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる医療従事者を再雇用し、更なる充実を図った。 <p>○職種別再雇用職員数 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	2019	医師	0	1	3	5	看護師	3	3	5	6	診療放射線技師	3	3	3	1	臨床検査技師	2	2	2	1	薬剤師	2	1	2	3	管理栄養士	0	1	1	1	合計	10	11	16	17	IV	今後も増加が予想される化学療法に対応するための看護外来の新設等、将来の医療需要に対応した組織編成を積極的に行っており、項目全体で特に進捗していると評価。																									
【事務局】																																																																													
・診療情報管理担当(医事課)																																																																													
【診療部門】																																																																													
・肝胆膵外科																																																																													
・臨床検査科																																																																													
・呼吸サポートセンター部																																																																													
・がん化学療法看護外来																																																																													
	H28	H29	H30	2019																																																																									
医師	0	1	3	5																																																																									
看護師	3	3	5	6																																																																									
診療放射線技師	3	3	3	1																																																																									
臨床検査技師	2	2	2	1																																																																									
薬剤師	2	1	2	3																																																																									
管理栄養士	0	1	1	1																																																																									
合計	10	11	16	17																																																																									
04	<p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携</p> <p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>2 地域連携バスの作成への参加協力及び普及推進</p> <p>3 救急医療コミュニティシステムの活用</p> <p>4 在宅医療・療養へ移行するための地域の介護・福祉機関との連携強化</p>	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介率・逆紹介率について、年度計画(紹介率70%以上、逆紹介率90%以上)の目標を達成し、地域医療支援病院として、地域医療の中核的な機能を果たした。 開放型病床登録医療機関及び登録医師数の拡大を目指し、新規に開設した医療機関に対する働きかけを行った結果、新たに8医療機関が追加となり、合計で389医療機関、521名の登録数となった。 <p>○紹介率・逆紹介率 単位:%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>64.1</td> <td>72.3</td> <td>75.3</td> <td>77.0</td> <td>77.3</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>84.2</td> <td>94.1</td> <td>99.2</td> <td>98.1</td> <td>96.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 在宅医療・療養へ移行するための地域の介護・福祉機関との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> オープン病床クリニカルミーティングは2月の開催予定となった 	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	紹介率	64.1	72.3	75.3	77.0	77.3	逆紹介率	84.2	94.1	99.2	98.1	96.2	<p>2 地域連携バスの作成への参加協力及び普及推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携バスに関する院内への周知、定期的なモニタリングを行うとともに、院内外の相談窓口として連絡調整を行った。 地域医師会や岐阜大学医学部附属病院による地域連携バスに係る学習会は、COVID-19の影響で開催されなかった。 地域連携バスの院内での普及を進めており、現在17種類の運用を行っている。 <p>○地域連携バスの運用実績 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携バス名</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性心筋梗塞</td> <td>27</td> <td>110</td> <td>81</td> <td>63</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>103</td> <td>115</td> <td>105</td> <td>158</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>334</td> <td>356</td> <td>341</td> <td>348</td> <td>284</td> </tr> <tr> <td>胃癌ステージ1</td> <td>39</td> <td>30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>胃癌ステージ2・3</td> <td>5</td> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td></td> <td></td> <td>49</td> <td>45</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>肝がん</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>59</td> <td>58</td> <td>51</td> <td>58</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table>	連携バス名	H27	H28	H29	H30	2019	急性心筋梗塞	27	110	81	63	59	大腿骨頸部骨折	103	115	105	158	125	脳卒中	334	356	341	348	284	胃癌ステージ1	39	30				胃癌ステージ2・3	5	9				胃がん			49	45	41	肝がん	0	0	6	2	3	大腸がん	59	58	51	58	53	IV	近隣医療機関との役割分担や連携強化について、紹介率、逆紹介率ともに目標を上回るなど、地域医療支援病院としての取組に加え、その他も継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																								
紹介率	64.1	72.3	75.3	77.0	77.3																																																																								
逆紹介率	84.2	94.1	99.2	98.1	96.2																																																																								
連携バス名	H27	H28	H29	H30	2019																																																																								
急性心筋梗塞	27	110	81	63	59																																																																								
大腿骨頸部骨折	103	115	105	158	125																																																																								
脳卒中	334	356	341	348	284																																																																								
胃癌ステージ1	39	30																																																																											
胃癌ステージ2・3	5	9																																																																											
胃がん			49	45	41																																																																								
肝がん	0	0	6	2	3																																																																								
大腸がん	59	58	51	58	53																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)					自己 評価	自己評価理由																																																																																																																												
		<p>ていたが、COVID-19感染拡大防止のため中止となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・療養への移行に当たっては、退院後の在宅医療を担う医療機関の医師、看護師、訪問看護ステーションの看護師等と退院前合同カンファレンスを実施した。また、退院後に介護サービスの利用が見込まれる患者に対しては、ケアマネージャーと連携した退院指導を実施した。 転院先の医療機関を訪問し、「顔のみえる連携」を図るとともに、医療機関の情報収集を行った結果、在宅復帰率80%の目標を十分に達成することができた。 H28:94.1% → H29:94.5% → H30:95.0% → 2019:95.0% 開放型病床については、適正に運用することができた。 より早期の退院、転院に向けて、他施設との連携強化を図るため、各病棟のMSWによる退院調整や介護施設等との連携件数を維持した。 <p>○開放型病床利用率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>103.8</td> <td>102.0</td> <td>73.0</td> <td>64.0</td> <td>67.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※開放型病床 H26:100床 → H27:20床</p> <p>○退院調整件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,684</td> <td>1,747</td> <td>1,758</td> <td>2,008</td> <td>1,912</td> </tr> </tbody> </table> <p>○介護施設・ケアマネージャーからの情報提供件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>330</td> <td>478</td> <td>547</td> <td>810</td> <td>830</td> </tr> </tbody> </table> <p>○退院前合同カンファレンスの実施件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>136</td> <td>131</td> <td>176</td> <td>196</td> <td>182</td> </tr> </tbody> </table> <p>○転院先医療機関への訪問件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>56</td> <td>31</td> <td>36</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	H30	2019	103.8	102.0	73.0	64.0	67.0	H27	H28	H29	H30	2019	1,684	1,747	1,758	2,008	1,912	H27	H28	H29	H30	2019	330	478	547	810	830	H27	H28	H29	H30	2019	136	131	176	196	182	H27	H28	H29	H30	2019	12	56	31	36	23	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>乳がん</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>27</td> <td>23</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>肝炎</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>35</td> <td>16</td> <td>20</td> <td>23</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>糖尿病</td> <td>30</td> <td>13</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>COPD</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>17</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>CKD</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>泌尿器</td> <td>50</td> <td>81</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PSA</td> <td></td> <td></td> <td>45</td> <td>32</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td></td> <td></td> <td>63</td> <td>54</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>尿路上皮がん</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>サポートパス</td> <td></td> <td></td> <td>7</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>心不全</td> <td></td> <td></td> <td>18</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>756</td> <td>859</td> <td>824</td> <td>844</td> <td>778</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 救急医療コミュニティシステムの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急医療情報連携地域協議会に参加し、コミュニティシステムを積極的に活用する体制を維持した。2019年度からは従来のコミュニティシステム(テレビ会議システム)から医療従事者間コミュニケーションアプリを活用したシステムに更新を行った。 岐阜県地域医療連携ネットワーク協議会に参加し、電子カルテ情報を他の医療機関から閲覧可能な環境を維持、2019年度末までの公開累計患者数は、13診療所等に対し205人となった。 	乳がん	55	60	27	23	127	肝炎	15	5	1	2	2	肺がん	35	16	20	23	22	糖尿病	30	13	4	0	0	COPD	3	5	2	17	1	CKD	1	1	0	0	0	泌尿器	50	81				PSA			45	32	17	前立腺がん			63	54	41	尿路上皮がん			4	7	2	サポートパス			7	2	0	心不全			18	10	1	合計	756	859	824	844	778		
H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																	
103.8	102.0	73.0	64.0	67.0																																																																																																																																	
H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																	
1,684	1,747	1,758	2,008	1,912																																																																																																																																	
H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																	
330	478	547	810	830																																																																																																																																	
H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																	
136	131	176	196	182																																																																																																																																	
H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																	
12	56	31	36	23																																																																																																																																	
乳がん	55	60	27	23	127																																																																																																																																
肝炎	15	5	1	2	2																																																																																																																																
肺がん	35	16	20	23	22																																																																																																																																
糖尿病	30	13	4	0	0																																																																																																																																
COPD	3	5	2	17	1																																																																																																																																
CKD	1	1	0	0	0																																																																																																																																
泌尿器	50	81																																																																																																																																			
PSA			45	32	17																																																																																																																																
前立腺がん			63	54	41																																																																																																																																
尿路上皮がん			4	7	2																																																																																																																																
サポートパス			7	2	0																																																																																																																																
心不全			18	10	1																																																																																																																																
合計	756	859	824	844	778																																																																																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																																																
05	※ 重点的に取り組む医療 1 救命救急センター(救命救急医療) 2 心臓血管センター(心臓血管疾患医療) 3 母と子ども医療センター(周産期医療) 4 がん医療センター(がん医療) 5 女性医療センター(女性医療) 6 小児医療センター(子ども医療)	2 心臓血管センター(心臓血管疾患医療) ・内科系の循環器内科と外科系の心臓血管外科が連携してチーム医療を行う県内初の施設として、心臓血管系の疾患患者に対応するとともに、不整脈科等設置した専門の診療科において、それぞれの患者に最適な治療を提供することができた。 ・年間の手術件数は329件で、心臓外科領域では冠動脈バイパス術などの虚血性心疾患が111件、人工弁置換術、弁形成術などの弁膜症が44件であった。血管外科領域では、大動脈瘤手術、ステントグラフト内挿術などの大血管が119件、動脈バイパス術などの末梢血管が23件あった。 ○手術・検査数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓カテーテル</td> <td>1,397</td> <td>1,274</td> <td>1,229</td> <td>1,350</td> <td>1,220</td> </tr> <tr> <td>PCI(経皮的冠動脈形成術)</td> <td>484</td> <td>476</td> <td>515</td> <td>530</td> <td>458</td> </tr> </tbody> </table> ○循環器系 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ablation(アブレーション)</td> <td>242</td> <td>260</td> <td>263</td> <td>246</td> <td>264</td> </tr> <tr> <td>PMI(ペースメーカー)</td> <td>116</td> <td>121</td> <td>110</td> <td>126</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>CRT(心臓再同期療法)</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ICD(植込み型除細動器)</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>39</td> <td>20</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>CRT-D(両室ペーシング機能付植込み型除細動器)</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> ○心臓血管系 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EVAR(腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)</td> <td>57</td> <td>55</td> <td>45</td> <td>53</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>TEVAR(胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>18</td> <td>28</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	心臓カテーテル	1,397	1,274	1,229	1,350	1,220	PCI(経皮的冠動脈形成術)	484	476	515	530	458	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	Ablation(アブレーション)	242	260	263	246	264	PMI(ペースメーカー)	116	121	110	126	128	CRT(心臓再同期療法)	1	4	6	3	5	ICD(植込み型除細動器)	22	22	39	20	17	CRT-D(両室ペーシング機能付植込み型除細動器)	13	3	11	7	9	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	EVAR(腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)	57	55	45	53	68	TEVAR(胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)	24	26	18	28	24	1 救命救急センター(救命救急医療) ・岐阜地域の救命救急センターとして、精神科疾患を除くすべての救命救急疾患に対し全診療科が対応、当センターでの救急医療の完結を目指し、二次・三次救急患者を24時間体制で受け入れた。 ・受入体制について、外来については、内科系、外科系、小児科系の医師による24時間体制としたほか、入院については、主治医制で対応した。一方、臨床検査や放射線検査については、常時、検査可能とし、救急関係診療科の24時間呼び出しにより、緊急手術に常時対応できる体制を確保した。また、麻酔科医、産婦人科医等専門診療科医については、オンコール体制での対応を行った。 ○病床利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延入院患者数(単位：人)</td> <td>8,709</td> <td>8,650</td> <td>8,005</td> <td>7,686</td> <td>8,062</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(単位：%)</td> <td>79.3</td> <td>79.0</td> <td>73.1</td> <td>70.2</td> <td>73.4</td> </tr> </tbody> </table> ○救急車受入状況 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車受入件数</td> <td>6,104</td> <td>5,851</td> <td>5,545</td> <td>5,902</td> <td>5,706</td> </tr> <tr> <td>一日平均件数</td> <td>16.7</td> <td>16.0</td> <td>15.2</td> <td>16.2</td> <td>15.6</td> </tr> </tbody> </table> ○救急外来患者(診療科別：上位のみ) 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科</td> <td>9,215</td> <td>7,468</td> <td>6,884</td> <td>6,718</td> <td>6,428</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>3,111</td> <td>2,835</td> <td>2,910</td> <td>3,078</td> <td>2,809</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>3,329</td> <td>2,911</td> <td>2,803</td> <td>2,768</td> <td>2,693</td> </tr> <tr> <td>総合診療科</td> <td>4,870</td> <td>4,295</td> <td>4,009</td> <td>4,057</td> <td>3,975</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>2,200</td> <td>1,817</td> <td>1,480</td> <td>1,434</td> <td>1,473</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	延入院患者数(単位：人)	8,709	8,650	8,005	7,686	8,062	病床利用率(単位：%)	79.3	79.0	73.1	70.2	73.4	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	救急車受入件数	6,104	5,851	5,545	5,902	5,706	一日平均件数	16.7	16.0	15.2	16.2	15.6	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	小児科	9,215	7,468	6,884	6,718	6,428	消化器内科	3,111	2,835	2,910	3,078	2,809	整形外科	3,329	2,911	2,803	2,768	2,693	総合診療科	4,870	4,295	4,009	4,057	3,975	外科	2,200	1,817	1,480	1,434	1,473	IV	心疾患の低侵襲手術患者やがん患者の増加に加え、ハイリスク妊婦及び新生児も増加しており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																																
心臓カテーテル	1,397	1,274	1,229	1,350	1,220																																																																																																																																																
PCI(経皮的冠動脈形成術)	484	476	515	530	458																																																																																																																																																
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																																
Ablation(アブレーション)	242	260	263	246	264																																																																																																																																																
PMI(ペースメーカー)	116	121	110	126	128																																																																																																																																																
CRT(心臓再同期療法)	1	4	6	3	5																																																																																																																																																
ICD(植込み型除細動器)	22	22	39	20	17																																																																																																																																																
CRT-D(両室ペーシング機能付植込み型除細動器)	13	3	11	7	9																																																																																																																																																
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																																
EVAR(腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)	57	55	45	53	68																																																																																																																																																
TEVAR(胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)	24	26	18	28	24																																																																																																																																																
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																																
延入院患者数(単位：人)	8,709	8,650	8,005	7,686	8,062																																																																																																																																																
病床利用率(単位：%)	79.3	79.0	73.1	70.2	73.4																																																																																																																																																
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																																
救急車受入件数	6,104	5,851	5,545	5,902	5,706																																																																																																																																																
一日平均件数	16.7	16.0	15.2	16.2	15.6																																																																																																																																																
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																																
小児科	9,215	7,468	6,884	6,718	6,428																																																																																																																																																
消化器内科	3,111	2,835	2,910	3,078	2,809																																																																																																																																																
整形外科	3,329	2,911	2,803	2,768	2,693																																																																																																																																																
総合診療科	4,870	4,295	4,009	4,057	3,975																																																																																																																																																
外科	2,200	1,817	1,480	1,434	1,473																																																																																																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)					自己評価	自己評価理由																																																																																																																																																								
		<table border="1"> <tr> <td>TAVI (TAVR) (経カテーテル大動脈弁置換術)</td> <td>17</td> <td>40</td> <td>37</td> <td>39</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>MitraClip(経皮的僧帽弁接合不全修復術)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>45</td> </tr> </table> <p>3 母と子ども医療センター(周産期医療)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新生児センター機能とハイリスクの妊産婦等の医療機能などの統合を継続し、産婦人科と小児科の枠を超えた高度医療を提供した。特に、合併症妊娠や異常妊娠、多胎妊娠、産褥異常、胎児異常等の患者の診療を行った。 当センターを受診されている妊婦だけではなく、緊急母体搬送で送られてくるハイリスク妊婦を24時間体制で受け入れた。 2019年1月の胎児診療科の設置により、胎児異常等の妊婦入院が大幅に増加した。また、全体の分娩数も増加した。 <p>○母体搬送の受入件数 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体搬送</td> <td>111(9)</td> <td>86(7)</td> <td>134(7)</td> <td>108(8)</td> <td>103(6)</td> </tr> <tr> <td>救急搬送</td> <td>23</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()はヘリコプター搬送《内数》</p> <p>○産科合併症 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>早産</td> <td>82</td> <td>78</td> <td>114</td> <td>119</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>HDP(妊娠高血圧症候群)</td> <td>43</td> <td>35</td> <td>23</td> <td>33</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>常位胎盤・早期剥離</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>胎盤位置異常</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>28</td> <td>34</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>羊水の異常</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>胎児異常</td> <td>36</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>54</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>FGR(胎児発育不全)</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>32</td> <td>18</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> <p>○合併症妊娠 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>婦人科系疾患</td> <td>69</td> <td>54</td> <td>69</td> <td>38</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>心・血管疾患</td> <td>60</td> <td>59</td> <td>59</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	TAVI (TAVR) (経カテーテル大動脈弁置換術)	17	40	37	39	59	MitraClip(経皮的僧帽弁接合不全修復術)					45	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	母体搬送	111(9)	86(7)	134(7)	108(8)	103(6)	救急搬送	23	6	5	11	13	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	早産	82	78	114	119	135	HDP(妊娠高血圧症候群)	43	35	23	33	61	常位胎盤・早期剥離	10	12	11	8	11	胎盤位置異常	18	20	28	34	39	羊水の異常	6	15	7	6	70	胎児異常	36	32	33	54	98	FGR(胎児発育不全)	10	5	32	18	48	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	婦人科系疾患	69	54	69	38	50	心・血管疾患	60	59	59	10	11	<table border="1"> <tr> <td>循環器内科</td> <td>2,049</td> <td>1,926</td> <td>1,847</td> <td>1,852</td> <td>1,873</td> </tr> <tr> <td>脳神経内科</td> <td>1,390</td> <td>1,357</td> <td>1,308</td> <td>1,330</td> <td>1,254</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7,855</td> <td>6,744</td> <td>6,586</td> <td>6,405</td> <td>6,788</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>34,019</td> <td>29,353</td> <td>27,827</td> <td>27,642</td> <td>27,293</td> </tr> </table> <p>6 小児医療センター(子ども医療) ＜小児医療センター(子ども医療)の運営＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児医療の拠点病院として、一般の医療機関では対応が困難な小児の疾患に対し、高度で専門的な医療を提供した。 6床のPICU(小児集中治療室)により、重篤な小児患者への対応を行った。 救急外来では、患者数が減少傾向ではあるが、24時間体制で小児患者を受け入れた。 岐阜県の小児医療の中心的な役割を担う施設として、日本小児総合医療施設協議会(JACHRI)にて総会への参加、各種照会による情報共有を行った。 <p>OPICUにおける病床稼働状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数(人)</td> <td>215</td> <td>190</td> <td>225</td> <td>203</td> <td>186</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>59.7</td> <td>51.5</td> <td>74.8</td> <td>68.1</td> <td>49.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H27.7(4床→6床)</p> <p>○15歳未満救急外来受入状況 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入患者数</td> <td>12,215</td> <td>9,778</td> <td>9,159</td> <td>8,861</td> <td>8,694</td> </tr> <tr> <td>うち、入院数</td> <td>1,266</td> <td>1,119</td> <td>1,180</td> <td>1,181</td> <td>1,091</td> </tr> </tbody> </table> <p>＜重症心身障がい児施設の運営＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 濃厚な医療的ケアが必要な重症心身障がい児の容態悪化に対応すべく小児医療センターの医師呼び出し体制を構築するとともに、総合リハビリテーションセンターや臨床工学部、薬剤部、栄養管理部の他、医療安全部、感染対策部等と連携したチーム医療を推進している。また、病床拡大や機能充実のため人員体制を拡充・強化した。 	循環器内科	2,049	1,926	1,847	1,852	1,873	脳神経内科	1,390	1,357	1,308	1,330	1,254	その他	7,855	6,744	6,586	6,405	6,788	合計	34,019	29,353	27,827	27,642	27,293	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	入院患者数(人)	215	190	225	203	186	稼働率(%)	59.7	51.5	74.8	68.1	49.8	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	受入患者数	12,215	9,778	9,159	8,861	8,694	うち、入院数	1,266	1,119	1,180	1,181	1,091		
TAVI (TAVR) (経カテーテル大動脈弁置換術)	17	40	37	39	59																																																																																																																																																												
MitraClip(経皮的僧帽弁接合不全修復術)					45																																																																																																																																																												
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																																												
母体搬送	111(9)	86(7)	134(7)	108(8)	103(6)																																																																																																																																																												
救急搬送	23	6	5	11	13																																																																																																																																																												
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																																												
早産	82	78	114	119	135																																																																																																																																																												
HDP(妊娠高血圧症候群)	43	35	23	33	61																																																																																																																																																												
常位胎盤・早期剥離	10	12	11	8	11																																																																																																																																																												
胎盤位置異常	18	20	28	34	39																																																																																																																																																												
羊水の異常	6	15	7	6	70																																																																																																																																																												
胎児異常	36	32	33	54	98																																																																																																																																																												
FGR(胎児発育不全)	10	5	32	18	48																																																																																																																																																												
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																																												
婦人科系疾患	69	54	69	38	50																																																																																																																																																												
心・血管疾患	60	59	59	10	11																																																																																																																																																												
循環器内科	2,049	1,926	1,847	1,852	1,873																																																																																																																																																												
脳神経内科	1,390	1,357	1,308	1,330	1,254																																																																																																																																																												
その他	7,855	6,744	6,586	6,405	6,788																																																																																																																																																												
合計	34,019	29,353	27,827	27,642	27,293																																																																																																																																																												
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																																												
入院患者数(人)	215	190	225	203	186																																																																																																																																																												
稼働率(%)	59.7	51.5	74.8	68.1	49.8																																																																																																																																																												
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																																																												
受入患者数	12,215	9,778	9,159	8,861	8,694																																																																																																																																																												
うち、入院数	1,266	1,119	1,180	1,181	1,091																																																																																																																																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)					自己 評価	自己評価理由																																																																																																																					
		<table border="1"> <tr><td>血液疾患</td><td>3</td><td>2</td><td>4</td><td>6</td><td>3</td></tr> <tr><td>腎疾患</td><td>3</td><td>5</td><td>8</td><td>4</td><td>6</td></tr> <tr><td>糖尿病・妊娠性糖尿病</td><td>26</td><td>21</td><td>23</td><td>40</td><td>57</td></tr> <tr><td>甲状腺疾患</td><td>27</td><td>21</td><td>29</td><td>12</td><td>26</td></tr> <tr><td>自己免疫・膠原病</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>6</td></tr> <tr><td>呼吸器疾患</td><td>32</td><td>21</td><td>27</td><td>1</td><td>6</td></tr> <tr><td>消化器疾患</td><td>5</td><td>6</td><td>6</td><td>8</td><td>2</td></tr> <tr><td>精神・神経系</td><td>20</td><td>25</td><td>10</td><td>4</td><td>10</td></tr> <tr><td>運動機能系</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <p>○ハイリスク妊婦・分娩等(対象者) 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>項目/年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>2019</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>総合周産期加算</td><td>230</td><td>206</td><td>230</td><td>276</td><td>347</td></tr> <tr><td>ハイリスク妊娠</td><td>25</td><td>46</td><td>48</td><td>100</td><td>215</td></tr> <tr><td>ハイリスク分娩</td><td>18</td><td>18</td><td>21</td><td>33</td><td>87</td></tr> <tr><td>救急加算</td><td>123</td><td>88</td><td>131</td><td>110</td><td>109</td></tr> </tbody> </table> <p>○保健指導実績 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>項目/年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>2019</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保健指導</td><td>1,024</td><td>868</td><td>921</td><td>1,033</td><td>1,351</td></tr> <tr><td>母乳相談</td><td>140</td><td>127</td><td>151</td><td>123</td><td>158</td></tr> </tbody> </table> <p><新生児医療センターの運営></p> <ul style="list-style-type: none"> 産科診療体制の再編により院内出生入院数は大幅に増加した。 超・極低出生体重児入院数が増加し、長期間NICUを占有するため、NICU不足が顕著となった。院外出生の入院依頼は三角搬送での対応が増え、院外出生入院数も減少した。 新生児手術症例数は、おおむね例年通りであった。 ドクターカー(すこやか号)を、重症例やヘリ搬送に対応できるよう、搭載する医療機器を含めて更新した。 <p>○出生、母体搬送件数 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>項目/年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>2019</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>院内出生</td><td>136</td><td>115</td><td>181</td><td>178</td><td>224</td></tr> <tr><td>院外出生</td><td>63</td><td>73</td><td>98</td><td>66</td><td>46</td></tr> </tbody> </table>	血液疾患	3	2	4	6	3	腎疾患	3	5	8	4	6	糖尿病・妊娠性糖尿病	26	21	23	40	57	甲状腺疾患	27	21	29	12	26	自己免疫・膠原病	2	3	3	3	6	呼吸器疾患	32	21	27	1	6	消化器疾患	5	6	6	8	2	精神・神経系	20	25	10	4	10	運動機能系	0	0	2	0	0	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	総合周産期加算	230	206	230	276	347	ハイリスク妊娠	25	46	48	100	215	ハイリスク分娩	18	18	21	33	87	救急加算	123	88	131	110	109	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	保健指導	1,024	868	921	1,033	1,351	母乳相談	140	127	151	123	158	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	院内出生	136	115	181	178	224	院外出生	63	73	98	66	46	<p>○施設の人員体制</p> <table border="1"> <tr> <td>医師 4人、看護師 22人、児童発達支援管理責任者 2人、保育士 3人(うち児童指導員 1人)、介護福祉士 12人、理学療法士 1人、臨床心理士 1人、事務 2人</td> </tr> </table>	医師 4人、看護師 22人、児童発達支援管理責任者 2人、保育士 3人(うち児童指導員 1人)、介護福祉士 12人、理学療法士 1人、臨床心理士 1人、事務 2人		
血液疾患	3	2	4	6	3																																																																																																																									
腎疾患	3	5	8	4	6																																																																																																																									
糖尿病・妊娠性糖尿病	26	21	23	40	57																																																																																																																									
甲状腺疾患	27	21	29	12	26																																																																																																																									
自己免疫・膠原病	2	3	3	3	6																																																																																																																									
呼吸器疾患	32	21	27	1	6																																																																																																																									
消化器疾患	5	6	6	8	2																																																																																																																									
精神・神経系	20	25	10	4	10																																																																																																																									
運動機能系	0	0	2	0	0																																																																																																																									
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																									
総合周産期加算	230	206	230	276	347																																																																																																																									
ハイリスク妊娠	25	46	48	100	215																																																																																																																									
ハイリスク分娩	18	18	21	33	87																																																																																																																									
救急加算	123	88	131	110	109																																																																																																																									
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																									
保健指導	1,024	868	921	1,033	1,351																																																																																																																									
母乳相談	140	127	151	123	158																																																																																																																									
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																																									
院内出生	136	115	181	178	224																																																																																																																									
院外出生	63	73	98	66	46																																																																																																																									
医師 4人、看護師 22人、児童発達支援管理責任者 2人、保育士 3人(うち児童指導員 1人)、介護福祉士 12人、理学療法士 1人、臨床心理士 1人、事務 2人																																																																																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																												
		<table border="1"> <tr> <td>母体搬送経由</td> <td>62</td> <td>48</td> <td>84</td> <td>57</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児</td> <td>27</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>23</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>極低出生体重児</td> <td>39</td> <td>40</td> <td>52</td> <td>53</td> <td>60</td> </tr> </table> <p>○新生児手術状況 単位：件</p> <table border="1"> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> <tr> <td>小児心臓外科</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>小児脳神経外科</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>小児外科</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科(気管切開)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>4 がん医療センター(がん医療)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携拠点病院として地域の医療機関と連携、あらゆる病期のがん患者に対して、良質な医療を提供した結果、入院患者は3千人超えを維持し、外来患者はさらに増加した。 <p>○がん患者数 単位：人</p> <table border="1"> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>2,668</td> <td>2,689</td> <td>2,801</td> <td>3,085</td> <td>3,073</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>61,295</td> <td>63,281</td> <td>67,028</td> <td>68,558</td> <td>70,577</td> </tr> <tr> <td>がん患者死亡数</td> <td>93</td> <td>81</td> <td>91</td> <td>98</td> <td>84</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者や一般市民を対象とした研修会を開催し、がん医療に係る啓発を行った。 <p>○院内研修会の実施状況 単位：人</p> <table border="1"> <tr> <th>開催月</th> <th>対象</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> <tr> <td>4、6、8、10、1月</td> <td>一般市民</td> <td>がん患者ほっとサロン学習会(5回)</td> <td>98名 (63名)</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>医師</td> <td>コミュニケーション技術研修会</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>医療者</td> <td>緩和ケア研修会</td> <td>50名 (6名)</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>一般市民</td> <td>患者セミナー(喉頭癌)</td> <td>39名 (24名)</td> </tr> </table>	母体搬送経由	62	48	84	57	60	超低出生体重児	27	23	25	23	31	極低出生体重児	39	40	52	53	60	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	小児心臓外科	9	3	9	10	10	小児脳神経外科	7	5	4	4	1	小児外科	14	16	12	11	16	耳鼻科(気管切開)	0	1	1	2	2	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	入院	2,668	2,689	2,801	3,085	3,073	外来	61,295	63,281	67,028	68,558	70,577	がん患者死亡数	93	81	91	98	84	開催月	対象	内容	参加者	4、6、8、10、1月	一般市民	がん患者ほっとサロン学習会(5回)	98名 (63名)	6月	医師	コミュニケーション技術研修会	11名	8月	医療者	緩和ケア研修会	50名 (6名)	11月	一般市民	患者セミナー(喉頭癌)	39名 (24名)			
母体搬送経由	62	48	84	57	60																																																																																												
超低出生体重児	27	23	25	23	31																																																																																												
極低出生体重児	39	40	52	53	60																																																																																												
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																												
小児心臓外科	9	3	9	10	10																																																																																												
小児脳神経外科	7	5	4	4	1																																																																																												
小児外科	14	16	12	11	16																																																																																												
耳鼻科(気管切開)	0	1	1	2	2																																																																																												
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																												
入院	2,668	2,689	2,801	3,085	3,073																																																																																												
外来	61,295	63,281	67,028	68,558	70,577																																																																																												
がん患者死亡数	93	81	91	98	84																																																																																												
開催月	対象	内容	参加者																																																																																														
4、6、8、10、1月	一般市民	がん患者ほっとサロン学習会(5回)	98名 (63名)																																																																																														
6月	医師	コミュニケーション技術研修会	11名																																																																																														
8月	医療者	緩和ケア研修会	50名 (6名)																																																																																														
11月	一般市民	患者セミナー(喉頭癌)	39名 (24名)																																																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況				その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)					自己 評価	自己評価理由																																													
		2月	医療関係者	在宅緩和地域連携研 修会	113名 (92名)																																																				
		<p>※()は院外《外数》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん事例の検討を行う「がんカンファレンス」を定期的(3回)に実施、院内・外から計94名の参加を得た。また、定期的(4回)に、末期がん患者の症例や課題を検討する「病診連携緩和ケアカンファレンス」を実施、院内・外から計211名の参加を得た。 ・がん認定看護師及びがん関連分野認定看護師が、がん治療及び療養に携わった。 <p>○がん治療及び療養に携わるがん認定看護師等</p> <table border="1" data-bbox="517 683 1140 951"> <tr><td>がん看護専門看護師</td><td>H30:1人</td><td>→</td><td>2019:1人</td></tr> <tr><td>がん性疼痛看護師認定看護師</td><td>H30:1人</td><td>→</td><td>2019:1人</td></tr> <tr><td>がん化学療法認定看護師</td><td>H30:2人</td><td>→</td><td>2019:3人</td></tr> <tr><td>がん放射線療法認定看護</td><td>H30:1人</td><td>→</td><td>2019:1人</td></tr> <tr><td>乳がん看護認定看護師</td><td>H30:1人</td><td>→</td><td>2019:1人</td></tr> <tr><td>緩和ケア認定看護師</td><td>H30:1人</td><td>→</td><td>2019:1人</td></tr> <tr><td>WOC</td><td>H30:3人</td><td>→</td><td>2019:3人</td></tr> <tr><td>摂食嚥下障害認定看護師</td><td>H30:1人</td><td>→</td><td>2019:1人</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的・精神的な苦痛を和らげる緩和ケアについて、チームとして取り組んだ。 <p>○緩和ケアチームの人員体制等</p> <table border="1" data-bbox="517 1118 1140 1219"> <tr> <td>・医師7人、看護師4人、薬剤師2人、臨床心理士2人、栄養士2人、リハビリ4人</td> </tr> <tr> <td>・依頼者数 H29:253人 → H30:230人 → 2019:224人</td> </tr> </table> <p>○治療の実績 単位:人</p> <table border="1" data-bbox="517 1286 1140 1420"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外科的治療</td> <td>1,336 (131)</td> <td>1,399 (130)</td> <td>1,350 (121)</td> <td>1,434 (134)</td> <td>1,371 (136)</td> </tr> <tr> <td>外来がん化学療法</td> <td>4,368</td> <td>4,773</td> <td>4,847</td> <td>5,135</td> <td>5,937</td> </tr> </tbody> </table>				がん看護専門看護師	H30:1人	→	2019:1人	がん性疼痛看護師認定看護師	H30:1人	→	2019:1人	がん化学療法認定看護師	H30:2人	→	2019:3人	がん放射線療法認定看護	H30:1人	→	2019:1人	乳がん看護認定看護師	H30:1人	→	2019:1人	緩和ケア認定看護師	H30:1人	→	2019:1人	WOC	H30:3人	→	2019:3人	摂食嚥下障害認定看護師	H30:1人	→	2019:1人	・医師7人、看護師4人、薬剤師2人、臨床心理士2人、栄養士2人、リハビリ4人	・依頼者数 H29:253人 → H30:230人 → 2019:224人	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	外科的治療	1,336 (131)	1,399 (130)	1,350 (121)	1,434 (134)	1,371 (136)	外来がん化学療法	4,368	4,773	4,847	5,135	5,937
がん看護専門看護師	H30:1人	→	2019:1人																																																						
がん性疼痛看護師認定看護師	H30:1人	→	2019:1人																																																						
がん化学療法認定看護師	H30:2人	→	2019:3人																																																						
がん放射線療法認定看護	H30:1人	→	2019:1人																																																						
乳がん看護認定看護師	H30:1人	→	2019:1人																																																						
緩和ケア認定看護師	H30:1人	→	2019:1人																																																						
WOC	H30:3人	→	2019:3人																																																						
摂食嚥下障害認定看護師	H30:1人	→	2019:1人																																																						
・医師7人、看護師4人、薬剤師2人、臨床心理士2人、栄養士2人、リハビリ4人																																																									
・依頼者数 H29:253人 → H30:230人 → 2019:224人																																																									
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																				
外科的治療	1,336 (131)	1,399 (130)	1,350 (121)	1,434 (134)	1,371 (136)																																																				
外来がん化学療法	4,368	4,773	4,847	5,135	5,937																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																
		<table border="1" data-bbox="521 253 1137 320"> <tr> <td>入院がん化学療法</td> <td>2,217</td> <td>2,178</td> <td>2,214</td> <td>2,616</td> <td>2,794</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>350</td> <td>356</td> <td>406</td> <td>439</td> <td>470</td> </tr> </table> <p>※()はダ・ヴィンチによる手術《内数》</p> <ul style="list-style-type: none"> がん相談支援センターとして、「相談室」、「退院サポート部」及び「セカンドオピニオン」のがん相談をとりまとめている。 がん患者の就労支援として、社会保険労務士、ハローワーク就労支援員及び両立支援促進員による相談をそれぞれ月1回実施した。 <p>○がん相談支援センターの活動実績 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="521 619 1122 694"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,075</td> <td>1,435</td> <td>1,366</td> <td>1,735</td> <td>953</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度から、がん患者や家族のための「ほっとサロン」を毎日開催し、ピアサポーターによる支援を実施した。また、ほっとサロン学習会を2ヶ月ごとに開催、がん患者や家族がともに学び、交流ができる場を確保した。 <p>○ほっとサロン利用人数 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="521 927 1122 1002"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,699</td> <td>1,804</td> <td>2,105</td> <td>2,239</td> <td>1,792</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 女性医療センター(女性医療)</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性医療センターとして、産科婦人科疾患、乳腺疾患、更年期障害等の女性特有の疾患を中心に、各科の枠を超えた医療を提供することができた。 各診療科の常勤女性医師と臨床心理士による心理カウンセリング等のサポートを実施した。 「女性専用病棟」である8階東病棟において、女性特有の疾患を持つ患者が安心して治療を受けられるよう、プライバシーの確保や安らぎづくりに努めた。 平均在院日数の短縮により、ベットコントロールに余裕ができたため、新規入院患者が増加した。 胎児診療科の設置に伴って産婦人科入院患者数が増加した。 	入院がん化学療法	2,217	2,178	2,214	2,616	2,794	放射線治療	350	356	406	439	470	H27	H28	H29	H30	2019	1,075	1,435	1,366	1,735	953	H27	H28	H29	H30	2019	1,699	1,804	2,105	2,239	1,792			
入院がん化学療法	2,217	2,178	2,214	2,616	2,794																																
放射線治療	350	356	406	439	470																																
H27	H28	H29	H30	2019																																	
1,075	1,435	1,366	1,735	953																																	
H27	H28	H29	H30	2019																																	
1,699	1,804	2,105	2,239	1,792																																	

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																								
		<p>○実績(8階東入院患者数) 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>549</td> <td>479</td> <td>610</td> <td>713</td> <td>784</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>518</td> <td>522</td> <td>569</td> <td>519</td> <td>578</td> </tr> <tr> <td>消化器科</td> <td>194</td> <td>224</td> <td>181</td> <td>143</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>113</td> <td>117</td> <td>99</td> <td>109</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,374</td> <td>1,342</td> <td>1,459</td> <td>1,484</td> <td>1,517</td> </tr> </tbody> </table> <p>○女性科疾患 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卵巣がん</td> <td>88</td> <td>108</td> <td>167</td> <td>202</td> <td>211</td> </tr> <tr> <td>卵巣腫瘍</td> <td>70</td> <td>59</td> <td>60</td> <td>77</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>子宮癌(体・内膜)</td> <td>73</td> <td>59</td> <td>70</td> <td>112</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>子宮筋腫</td> <td>59</td> <td>51</td> <td>48</td> <td>67</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td>91</td> <td>73</td> <td>94</td> <td>87</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>224</td> <td>236</td> <td>216</td> <td>218</td> <td>252</td> </tr> </tbody> </table> <p>○女性外来患者数 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>666</td> <td>763</td> <td>782</td> <td>778</td> <td>724</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	産婦人科	549	479	610	713	784	外科	518	522	569	519	578	消化器科	194	224	181	143	77	その他	113	117	99	109	78	合計	1,374	1,342	1,459	1,484	1,517	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	卵巣がん	88	108	167	202	211	卵巣腫瘍	70	59	60	77	102	子宮癌(体・内膜)	73	59	70	112	89	子宮筋腫	59	51	48	67	76	子宮頸がん	91	73	94	87	94	乳がん	224	236	216	218	252	H27	H28	H29	H30	2019	666	763	782	778	724			
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																								
産婦人科	549	479	610	713	784																																																																																								
外科	518	522	569	519	578																																																																																								
消化器科	194	224	181	143	77																																																																																								
その他	113	117	99	109	78																																																																																								
合計	1,374	1,342	1,459	1,484	1,517																																																																																								
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																								
卵巣がん	88	108	167	202	211																																																																																								
卵巣腫瘍	70	59	60	77	102																																																																																								
子宮癌(体・内膜)	73	59	70	112	89																																																																																								
子宮筋腫	59	51	48	67	76																																																																																								
子宮頸がん	91	73	94	87	94																																																																																								
乳がん	224	236	216	218	252																																																																																								
H27	H28	H29	H30	2019																																																																																									
666	763	782	778	724																																																																																									

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目 標	<p>1-2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。</p> <p>※ 調査及び臨床研究等の推進 高度・先進医療の各分野において、疫学調査や診断技法・治療法の開発、臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び岐阜地域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。</p> <p>※ 診療情報等の活用 電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。</p>
--------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																														
06	<p>※ 調査及び臨床研究等の推進</p> <p>1 臨床研究及び治験の推進</p> <p>2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進</p>		<p>1 臨床研究及び治験の推進 ・治験実施件数は前年並みとなったが、臨床研究受託研究件数は、前年を上回る実績となった。</p> <p>○治験 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>23</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>治験症例件数</td> <td>92</td> <td>95</td> <td>69</td> <td>34</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>○臨床研究事業 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託研究件数</td> <td>54</td> <td>78</td> <td>85</td> <td>100</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table> <p>○主な臨床研究事業</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・MitraClip 後の心機能、僧帽弁逆流量の変化について ・Fetal HQ、新開発胎児心電図による胎児心機能評価に関する研究 </div> <p>2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進 ・岐阜大学の寄附講座への参加を継続した。 先端画像開発講座 (H29 ~ R3) ・県立看護大学との共同研究 (周産期関係) を開始した。</p>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	治験実施件数	29	29	29	23	23	治験症例件数	92	95	69	34	26	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	受託研究件数	54	78	85	100	102	III	継続的に取組ができて いるが、平年並みの実績 と評価。
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																														
治験実施件数	29	29	29	23	23																														
治験症例件数	92	95	69	34	26																														
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																														
受託研究件数	54	78	85	100	102																														
07	<p>※ 診療情報等の活用</p> <p>1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p>	<p>1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 ・医師が記載した電子カルテの診療記録について、記述内容等を診療情報管理委員会で監査し、そのレベル向上を図るとともに、病理検査結果、内視鏡検査結果の患者への説明状況や画像診断</p>	<p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 ・電子カルテ上の「退院サマリー」について、病歴管理システムにデータを連携・集計することにより医学統計書を作成した。 また、「がん登録サマリー」については、がん登録システムを連</p>	IV	院内分析チームにより 診療情報を活用した分 析報告会を多く実施し ていることに加え、Q I 活動の継続等の取組が																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H31（2019）年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																								
	2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用	<p>結果の確認状況等を点検することにより、医療の安全と質の向上に努めた。また、医療画像の提供（7,982件）やぎふ清流ネットの活用により、病診連携の実現に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療情報として蓄積されたDPCデータについては、多職種で構成する分析チームにより、分析ソフトによる解析とコンサルタントを活用した9診療科の分析を実施した。さらに、分析チームによる活動範囲を広げることで、コンサルタントの関与を減らした。また、分析により指摘した事項について、半年後に定量的な評価を実施した。 <p>○分析報告会の実施状況とコンサルティング委託費用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分析報告会数</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>定量評価</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>委託費用 (千円)</td> <td>7,737</td> <td>7,230</td> <td>6,505</td> <td>3,003</td> <td>2,177</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成27年度より、院内の分析チームの活動開始</p>	項目	H27	H28	H29	H30	2019	分析報告会数	9	9	8	9	9	定量評価	×	×	×	○	○	委託費用 (千円)	7,737	7,230	6,505	3,003	2,177	<p>携わせることにより、地域がん登録届出票を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療内容やカンファレンス等については、診療科・センター毎にホームページにて随時情報提供を行った。 QI活動では、日本病院会（指標数：40）、全国自治体病院協議会（指標数：38）、京都大学が研究しているQIP事業（指標数：139）に参加し、委員会での報告や院内の電子掲示板への公開によりフィードバック内容を共有した。 		できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目	H27	H28	H29	H30	2019																								
分析報告会数	9	9	8	9	9																								
定量評価	×	×	×	○	○																								
委託費用 (千円)	7,737	7,230	6,505	3,003	2,177																								

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	<p>1-3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。</p> <p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実 専門医等の研修施設として認められた病院(臨床研修病院)として、臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医)の積極的な受入れを行うこと。 岐阜大学医学部附属病院、岐阜県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を生かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。</p> <p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。</p>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																								
08	※ 医師の卒後臨床研修等の充実 1 質の高い医療従事者の養成 2 後期研修医に対する研修等		<p>1 質の高い医療従事者の養成 ・各診療科・部において医療従事者の養成を実施した。</p> <p>○医師の研修、学会・セミナー等の派遣実績 単位：件</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> <tr> <td>916</td> <td>804</td> <td>876</td> <td>877</td> <td>843</td> </tr> </table> <p>※再掲</p> <p>○初期臨床研修医数 (各年度末時点) 単位：人</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>31</td> <td>32</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>2 専攻医に対する研修等 ・専門医機構から基幹病院として認定された内科、小児科、整形外科において、その役割を果たした。</p> <p>○学会参加者数(延べ人数) 単位：人</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> <tr> <td>190</td> <td>74</td> <td>97</td> <td>130</td> <td>89</td> </tr> </table> <p>○後期研修医及び専攻医数(各年度末時点) 単位：人</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>46</td> <td>46</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	H27	H28	H29	H30	2019	916	804	876	877	843	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	医師	32	33	31	32	32	歯科医師	1	2	2	2	3	H27	H28	H29	H30	2019	190	74	97	130	89	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	医師	31	31	46	46	41	歯科医師	0	0	0	0	0	III	医師の卒後臨床研修について、研修医の確保は引き続きできているが、派遣実績や研修の参加者数がやや減少しており、平年並みの実績と評価。
H27	H28	H29	H30	2019																																																									
916	804	876	877	843																																																									
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																								
医師	32	33	31	32	32																																																								
歯科医師	1	2	2	2	3																																																								
H27	H28	H29	H30	2019																																																									
190	74	97	130	89																																																									
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																								
医師	31	31	46	46	41																																																								
歯科医師	0	0	0	0	0																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																				
09	※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ 2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実		1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ ・県内医療従事者の育成を図るため、医学生をはじめ看護学生、コメディカルを目指す学生の実習等の受入を行った。 ○医学生の実習等受入状況(実人数) 単位:人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生(実習)</td> <td>53</td> <td>42</td> <td>42</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>医学生(病院見学)</td> <td>83</td> <td>90</td> <td>100</td> <td>122</td> <td>146</td> </tr> </tbody> </table> ○看護学生の実習受入状況(延べ人数) 単位:人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学生</td> <td>9,475</td> <td>9,520</td> <td>8,676</td> <td>8,924</td> <td>7,786</td> </tr> </tbody> </table> ○コメディカルの実習受入状況(実人数) 単位:人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤センター</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>15</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>リハビリ</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>22</td> <td>15</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>中央放射線部</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>臨床工学部</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>栄養センター</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>中央検査部</td> <td>6</td> <td>24</td> <td>38</td> <td>34</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>病理センター</td> <td></td> <td>13</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>74</td> <td>102</td> <td>101</td> <td>94</td> <td>88</td> </tr> </tbody> </table> 2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実 ・救急救命士の病院実習や救急救命士取得のための臨床実習を受け入れた。	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	医学生(実習)	53	42	42	40	40	医学生(病院見学)	83	90	100	122	146	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	看護学生	9,475	9,520	8,676	8,924	7,786	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	薬剤センター	18	18	18	15	16	リハビリ	25	26	22	15	16	中央放射線部	10	7	5	11	12	臨床工学部	7	3	3	4	1	栄養センター	8	11	8	6	2	中央検査部	6	24	38	34	31	病理センター		13	7	9	10	合計	74	102	101	94	88	III	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価。
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																				
医学生(実習)	53	42	42	40	40																																																																																				
医学生(病院見学)	83	90	100	122	146																																																																																				
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																				
看護学生	9,475	9,520	8,676	8,924	7,786																																																																																				
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																				
薬剤センター	18	18	18	15	16																																																																																				
リハビリ	25	26	22	15	16																																																																																				
中央放射線部	10	7	5	11	12																																																																																				
臨床工学部	7	3	3	4	1																																																																																				
栄養センター	8	11	8	6	2																																																																																				
中央検査部	6	24	38	34	31																																																																																				
病理センター		13	7	9	10																																																																																				
合計	74	102	101	94	88																																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由										
			○実習受入状況 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>74</td> <td>59</td> <td>26</td> <td>45</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H28	H29	H30	2019	74	59	26	45	44		
H27	H28	H29	H30	2019											
74	59	26	45	44											

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	<p>1-4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。</p> <p>※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を積極的に行うこと。 代診医師の派遣や巡回診療等、県全体での広域的なへき地医療支援事業の企画・調整など、協力病院として県におけるへき地医療対策を円滑かつ効率的に実施すること。</p> <p>※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。</p> <p>※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																		
10	※ 地域医療への支援 1 地域医療水準の向上 2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援 3 へき地医療対策の支援	<p>1 地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> オープン病床クリニカルミーティングは2月に開催する予定であったが、COVID-19の影響から中止となった。 高度医療機器の共同利用を促進した結果、CT、MRIの利用件数が増加した。 <p>○高度医療機器の共同利用実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>432</td> <td>374</td> <td>406</td> <td>357</td> <td>393</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>268</td> <td>133</td> <td>261</td> <td>268</td> <td>290</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	CT	432	374	406	357	393	MRI	268	133	261	268	290	<p>3 へき地医療対策の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 県とへき地医療支援機構運営委託契約を締結、医師である専任担当官を配置し、へき地診療所等に対する派遣調整やへき地医療従事者に対する研修会を開催した。 後期研修プログラムの中に一定期間の医師不足地域での勤務を含めることで医師不足の解消を図る「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」に参加し、県立下呂温泉病院に対して後期研修医を派遣した。 新専門医制度による専門研修プログラムに基づき、一定期間下呂温泉病院に対して専攻医を退職派遣した。 	IV	高度医療機器の共同利用の増加に加え、他の医療機関への人的支援が増加し拠点病院としての役割を果たしており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																		
CT	432	374	406	357	393																		
MRI	268	133	261	268	290																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H31（2019）年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																								
		<p>・共同診療の推進 開放型病床を活用し、登録医師との共同診療を促進した。また、母とこども医療センターの夜間・休日診療に2人の勤務医・開業医が協力するとともに、各務原市医師会所属医師8人が小児輪番日において地域連携診療を実施した。</p> <p>○輪番制実施状況 単位：日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児</td> <td>260</td> <td>275</td> <td>259</td> <td>258</td> <td>278</td> </tr> <tr> <td>内科・外科系</td> <td>75</td> <td>94</td> <td>75</td> <td>75</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table> <p>○開放型病床の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同指導（単位：回）</td> <td>7.2</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>病床利用率 （単位：％）</td> <td>103.8</td> <td>102.0</td> <td>73.0</td> <td>64.0</td> <td>67.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※共同指導回数は月平均、開放型病床 H26:100床 → H27:20床</p> <p>・ぎふ清流ネットによる電子カルテ診療情報の提供 岐阜県医師会が運用する「ぎふ清流ネット」に参加し、地域の医療機関に当センターの電子カルテ診療情報を提供した。</p> <p>○ぎふ清流ネット公開状況（累計） 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関数</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>患者数</td> <td>35</td> <td>110</td> <td>149</td> <td>174</td> <td>205</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H27.10 運用開始</p> <p>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援 ・県立下呂温泉病院や高山赤十字病院等に対して、診療上の人的支援を行った。</p>	項目／年度	H27	H28	H29	H30	2019	小児	260	275	259	258	278	内科・外科系	75	94	75	75	85	項目／年度	H27	H28	H29	H30	2019	共同指導（単位：回）	7.2	11	11	11	8	病床利用率 （単位：％）	103.8	102.0	73.0	64.0	67.0	項目／年度	H27	H28	H29	H30	2019	医療機関数	6	9	12	13	13	患者数	35	110	149	174	205	<p>○下呂温泉病院への派遣状況（延べ人数） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種・年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後期研修医</td> <td>303</td> <td>313</td> <td>312</td> <td>435</td> <td>732</td> </tr> <tr> <td>小児科医</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>148</td> <td>159</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ H30、2019 の後期研修医数に退職派遣した専攻医を含む。</p>	職種・年度	H27	H28	H29	H30	2019	後期研修医	303	313	312	435	732	小児科医	0	0	0	148	159		
項目／年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																								
小児	260	275	259	258	278																																																																								
内科・外科系	75	94	75	75	85																																																																								
項目／年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																								
共同指導（単位：回）	7.2	11	11	11	8																																																																								
病床利用率 （単位：％）	103.8	102.0	73.0	64.0	67.0																																																																								
項目／年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																								
医療機関数	6	9	12	13	13																																																																								
患者数	35	110	149	174	205																																																																								
職種・年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																								
後期研修医	303	313	312	435	732																																																																								
小児科医	0	0	0	148	159																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																				
		<p>○他の医療機関への人的支援の状況(延べ人数) 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む ※1)</td> <td>609</td> <td>623</td> <td>629</td> <td>711</td> <td>930</td> </tr> <tr> <td>高山赤十字病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>378</td> <td>26</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>揖斐厚生病院</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>下呂市立金山病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>県立多治見病院</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>国保清見診療所 ※2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>国保蛭川診療所 ※2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>藤橋国保診療所 ※2</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>久々野診療所 ※2</td> <td>9</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>郡上市民病院</td> <td>67</td> <td>71</td> <td>70</td> <td>49</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>中濃厚生病院</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>久美愛厚生病院</td> <td>23</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>735</td> <td>720</td> <td>1,089</td> <td>803</td> <td>1,060</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 H30、2019の後期研修医数に退職派遣した専攻医を含む。 ※2 岐阜県へき地医療支援機構依頼分</p>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む ※1)	609	623	629	711	930	高山赤十字病院	12	12	378	26	63	揖斐厚生病院	1	1	—	5	—	下呂市立金山病院	12	12	12	12	12	県立多治見病院	—	—	—	—	3	国保清見診療所 ※2	—	—	—	—	1	国保蛭川診療所 ※2	—	—	—	—	1	藤橋国保診療所 ※2	—	1	—	—	—	久々野診療所 ※2	9	—	—	—	—	郡上市民病院	67	71	70	49	50	中濃厚生病院	2	—	—	—	—	久美愛厚生病院	23	—	—	—	—	合計	735	720	1,089	803	1,060			
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																				
県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む ※1)	609	623	629	711	930																																																																																				
高山赤十字病院	12	12	378	26	63																																																																																				
揖斐厚生病院	1	1	—	5	—																																																																																				
下呂市立金山病院	12	12	12	12	12																																																																																				
県立多治見病院	—	—	—	—	3																																																																																				
国保清見診療所 ※2	—	—	—	—	1																																																																																				
国保蛭川診療所 ※2	—	—	—	—	1																																																																																				
藤橋国保診療所 ※2	—	1	—	—	—																																																																																				
久々野診療所 ※2	9	—	—	—	—																																																																																				
郡上市民病院	67	71	70	49	50																																																																																				
中濃厚生病院	2	—	—	—	—																																																																																				
久美愛厚生病院	23	—	—	—	—																																																																																				
合計	735	720	1,089	803	1,060																																																																																				
11	※ 社会的な要請への協力		<p>・医療に関する鑑定や調査、講師派遣など、社会的な要請に対し随時協力を行った。</p> <p>○大学等への派遣実績 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜大学への講師(医師・歯科医師)派遣</td> <td>44</td> <td>41</td> <td>40</td> <td>36</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>岐阜県衛生専門学校への講師(医師・歯科医師)派遣</td> <td>176</td> <td>145</td> <td>127</td> <td>122</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>岐阜県衛生専門学校への講師(看護師)派遣</td> <td>25</td> <td>70</td> <td>60</td> <td>63</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>各種学校への講師(看</td> <td>26</td> <td>9</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	項目	H27	H28	H29	H30	2019	岐阜大学への講師(医師・歯科医師)派遣	44	41	40	36	43	岐阜県衛生専門学校への講師(医師・歯科医師)派遣	176	145	127	122	119	岐阜県衛生専門学校への講師(看護師)派遣	25	70	60	63	65	各種学校への講師(看	26	9	13	13	14	III	継続的に取組ができて いるが、平年並みの実績 と評価。																																																						
項目	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																				
岐阜大学への講師(医師・歯科医師)派遣	44	41	40	36	43																																																																																				
岐阜県衛生専門学校への講師(医師・歯科医師)派遣	176	145	127	122	119																																																																																				
岐阜県衛生専門学校への講師(看護師)派遣	25	70	60	63	65																																																																																				
各種学校への講師(看	26	9	13	13	14																																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)					自己評価	自己評価理由																																																																																																									
			<table border="1"> <tr> <td>護師) 派遣</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>岐阜薬科大学への講師(薬剤師) 派遣</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>東京薬科大学への講師(薬剤師) 派遣</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>金城学院大学への講師(薬剤師) 派遣</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>岐阜医療科学大学への講師(臨床検査技師) 派遣</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>岐阜県衛生専門学校への専門相談員(臨床心理士) 派遣</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>岐阜県衛生専門学校への講師(社会福祉士) 派遣</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>○講師派遣の状況(大学以外) 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>43</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>71</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>67</td> <td>51</td> <td>51</td> <td>45</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">コメデイカル</td> <td>薬剤センター</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>リハビリ</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>中央放射線部</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>臨床工学部</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>栄養センター</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>中央検査部</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>124</td> <td>121</td> <td>117</td> <td>129</td> <td>118</td> </tr> </tbody> </table>	護師) 派遣						岐阜薬科大学への講師(薬剤師) 派遣	1	0	0	0	0	東京薬科大学への講師(薬剤師) 派遣	1	0	0	0	0	金城学院大学への講師(薬剤師) 派遣	1	1	1	1	1	岐阜医療科学大学への講師(臨床検査技師) 派遣	1	1	1	1	1	岐阜県衛生専門学校への専門相談員(臨床心理士) 派遣	1	1	1	1	1	岐阜県衛生専門学校への講師(社会福祉士) 派遣	6	7	5	5	5	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	医師	43	50	55	71	56	歯科医師	1	2	1	2	0	看護師	67	51	51	45	55	コメデイカル	薬剤センター	3	6	3	2	0	リハビリ	4	2	2	4	2	中央放射線部	1	0	1	1	2	臨床工学部	4	4	0	1	0	栄養センター	0	0	1	1	1	中央検査部	1	6	3	2	2	合計	124	121	117	129	118		
護師) 派遣																																																																																																																		
岐阜薬科大学への講師(薬剤師) 派遣	1	0	0	0	0																																																																																																													
東京薬科大学への講師(薬剤師) 派遣	1	0	0	0	0																																																																																																													
金城学院大学への講師(薬剤師) 派遣	1	1	1	1	1																																																																																																													
岐阜医療科学大学への講師(臨床検査技師) 派遣	1	1	1	1	1																																																																																																													
岐阜県衛生専門学校への専門相談員(臨床心理士) 派遣	1	1	1	1	1																																																																																																													
岐阜県衛生専門学校への講師(社会福祉士) 派遣	6	7	5	5	5																																																																																																													
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																																													
医師	43	50	55	71	56																																																																																																													
歯科医師	1	2	1	2	0																																																																																																													
看護師	67	51	51	45	55																																																																																																													
コメデイカル	薬剤センター	3	6	3	2	0																																																																																																												
	リハビリ	4	2	2	4	2																																																																																																												
	中央放射線部	1	0	1	1	2																																																																																																												
	臨床工学部	4	4	0	1	0																																																																																																												
	栄養センター	0	0	1	1	1																																																																																																												
中央検査部	1	6	3	2	2																																																																																																													
合計	124	121	117	129	118																																																																																																													
12	※ 保健医療情報の提供・発信	1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 ・「知ろう!学ぼう!最先端医療」をテーマとした一般開放イベント	2 保健医療、健康管理等の情報提供 ・広報誌「けんこう」及び地域医療連携誌「れんけい」をそれぞれ	IV	毎年開催している健康祭の参加者数が増加し																																																																																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																										
	1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 2 保健医療、健康管理等の情報提供	ト「健康祭2019」を11月に開催、ロボットスーツHALや胎児診療等の最先端医療に関する講演を行うとともに、各種測定コーナーを設置、オペ体験やコンサート等を実施した。 ○健康祭の実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テーマ</td> <td>食</td> <td>運動</td> <td>認知症</td> <td>がん</td> <td>最先端医療</td> </tr> <tr> <td>参加者数(人)</td> <td>—</td> <td>450</td> <td>270</td> <td>500</td> <td>550</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	テーマ	食	運動	認知症	がん	最先端医療	参加者数(人)	—	450	270	500	550	2回発行した。 ・プレス発表や取材協力等マスメディアを活用した情報発信を行った。 ・ホームページのコンテンツを随時更新することにより、TOPページのアクセス数が増加した。 ○ホームページアクセス数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOP ページ</td> <td>229,323</td> <td>242,401</td> <td>267,394</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H29	H30	2019	TOP ページ	229,323	242,401	267,394		ていることに加え、ホームページのアクセス数も増加するなど、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																										
テーマ	食	運動	認知症	がん	最先端医療																										
参加者数(人)	—	450	270	500	550																										
項目/年度	H29	H30	2019																												
TOP ページ	229,323	242,401	267,394																												

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	1-5 災害等発生時における医療救護 ※ 医療救護活動の拠点機能の充実 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは岐阜地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。 岐阜県の基幹災害医療センターとして、県内の災害拠点病院に対し災害医療研修や災害医療訓練(公開)を行うなど指導的役割を發揮すること。 ※ 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、岐阜県の要請に基づき DMAT を派遣するなど、積極的に医療救護の協力をを行うこと。 ※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立 大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画の作成及び訓練等を実施すること。 ※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の發揮 新型インフルエンザ等(新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。)発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受入れ、重症症例の治療等を行うこと。	災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフや災害派遣医療チーム(以下「DMAT」という。)の派遣など医療救護を行うことを求める。			
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------	--	--	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
13	※ 医療救護活動の拠点機能の充実		1 医療救護活動の拠点機能の充実 ・岐阜県南西部にて震度7の地震が発生し、当センターに多数の	Ⅲ	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																		
	1 医療救護活動の拠点機能の充実 2 基幹災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進		負傷者が来院または搬送されるという想定で、災害対策本部を立ち上げ、病院機能を通常診療から災害医療体制に切り替える訓練を実施した。 ○災害対策訓練の実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施日</td> <td>8/29</td> <td>9/10</td> <td>10/21</td> <td>9/29</td> <td>9/28</td> </tr> <tr> <td>参加者数(人)</td> <td>290</td> <td>325</td> <td>248</td> <td>293</td> <td>203</td> </tr> </tbody> </table> 2 基幹災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進 ・災害時における医療体制の充実強化のため、岐阜赤十字病院及び澤田病院と被害状況及び災害体制についての情報共有訓練を実施した。	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	実施日	8/29	9/10	10/21	9/29	9/28	参加者数(人)	290	325	248	293	203		評価。
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																		
実施日	8/29	9/10	10/21	9/29	9/28																		
参加者数(人)	290	325	248	293	203																		
14	※ 他県等の医療救護への協力 1 大規模災害に対応するためのDMAT体制の確保と訓練・研修 2 大規模災害発生時のDMATの派遣	2 大規模災害発生時のDMATの派遣 ・台風19号被害に伴い、岐阜県からの要請に基づき迅速にDMATを派遣した。	1 大規模災害に対応するためのDMAT体制の確保と訓練・研修 ・大規模災害への対応を図るため、DMAT(3班)及び岐阜県地域防災計画に基づく医療救護班を編成し、必要な機能の整備を図った。 ・DMAT隊員養成研修に3人、中部ブロックDMAT技能維持研修に5人参加した。 ・国や県が主催する訓練に積極的に参加した。 ○国や県が主催する訓練への参加状況 ・多数傷病者対応訓練(11/13、岐阜市)	IV	長野県で発生した台風19号被害に対して迅速にDMATを派遣したことに加え、更なる隊員養成に積極的に取り組んでいるなど、項目全体で特に進捗していると評価。																		
15	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立 1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備 2 診療情報のバックアップシステムの構築	2 診療情報のバックアップシステムの維持 ・構築したバックアップシステムを適正に管理し、大規模災害時のみならず大規模システム障害時にも診療の継続が可能な環境を維持した。各病棟、一般外来及び救急外来へ配備した診療情報を蓄積したローカルSS-MIXストレージ(オフラインPC)については、定期的にデータのコピー状況を確認した。	1 BCP(事業継続計画)に基づく訓練等の実施 ・被災時において、病院機能の回復を早急に行い、継続的に診療ができるよう診療継続計画の見直しを行った。 ・被災時において迅速に災害医療体制に移行できるよう「災害対策マニュアル」により、災害対策訓練を行った。	IV	遠隔地へのバックアップに加え、システム障害にも備えた体制が整備されており、項目全体として特に進捗していると評価。																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
16	※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 ・「新型インフルエンザ等対策準備検討委員会」を感染症内科部長心得を委員長、診療局長、看護部長、事務局長などが副委員長としてメンバーに加わる形の委員会とし、COVID-19発生時は診療と感染対策の両輪で実際に対応した。 ・2月28日(金)にCOVID-19対策本部を院長を対策本部長として立ち上げ、病院幹部と各部門責任者、感染対策部メンバーなどにて週2回(月・金)で開催した。 ・帰国者・接触者外来の設置とは別に3月5日(木)より発熱外来を設置して発熱患者のトリアージを開始した。 ・5階西病棟の一部をCOVID-19患者専用病棟として陰圧室の確保などの整備を行った。 ・マスク・ガウン・消毒薬などの必要物資の調達・備蓄に努めた。 ・院内LAMP法の検査態勢を整備して院内でも検査できる態勢とした。	2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 ・新型インフルエンザに対応したPPE装着訓練を実施した。 ・2月24日(月)にCOVID-19対策訓練として帰国者・接触者外来への受診依頼連絡からの対応の流れについて関係職員を集めて一連の流れについての訓練を行った。	IV	COVID-19の発生に伴い、迅速な受け入れ体制の整備ができており、項目全体として特に進捗していると評価。

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	<p>1-6 医療型障害児入所施設の運営 岐阜県が推進する総合療育の拠点として、医療型障害児入所施設の運営を行う。</p> <p>※ 医療的ケアが求められる障がい児の医療・療育体制の整備 在宅で療養を行うことが困難な重症心身障がい児のうち、人工呼吸器装着など濃厚な医療的ケアを要する児を主な対象とする医療型障害児入所施設を運営すること。 入所児に対し、訪問教育を実施する受入れ体制を整えること。 入所児に対し、デイルーム、図書室兼遊戯室、機能訓練室、言語療養室などの各種施設・設備を活用した療育及び機能訓練プログラム等を行うこと。</p> <p>※ 在宅医療支援体制の充実 レスパイトケア(障がい児を在宅でケアしている家族を癒すため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス)のための短期入所機能を整備すること。 入院障がい児の円滑な在宅移行を支援するため、家族に対する医療的ケア指導等の在宅移行に向けた訓練や、在宅医療・療育の相談などを実施すること。 在宅移行後の容体悪化や救急時に対応するための医療支援を行うこと。</p>
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由															
17	<p>※ 医療的ケアが求められる障がい児の医療・療育体制の整備</p> <p>1 医療型障害児入所施設の運営</p> <p>2 受入れ重症心身障がい児に対する療育・機能訓練プログラムの実施</p>	<p>1 医療型障害児入所施設の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療型障害児入所施設「重症心身障がい児施設すこやか」において、長期入所として入所児に対して医療的ケア、生活支援及び療育を実施、年度末で長期入所児は1人減で、8人となっている。 一時的に在宅での介護が困難となった場合や、退院後に在宅で安心して生活できるよう家族がケア方法を習得する教育目的に9人(長期入所扱い)を受入れ、目的の達成に取り組んだ。 今年度は、計画どおり4階の16床を稼働させ全体で30床とし、医師1人、看護師8人及び介護福祉士6人を増員し、総合療育の拠点としての機能強化に努めた。 	<p>2 受入れ重症心身障がい児に対する療育・機能訓練プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 入所施設の各種施設・設備を活用し、医師、看護師、リハビリテーション技師、保育士、介護福祉士、管理栄養士等の連携による療育・機能訓練プログラムを実施した。 岐阜県立長良特別支援学校からの訪問教育では、授業や入学式等の学校行事が円滑に実施されるよう、医教連絡会議や月例連絡会議を実施するなど学校との連携を図り、積極的な支援に取り組んだ。 <p>(小学部：2人、中学部：2人、高等部：1人)</p>	IV	当初の計画どおり、施設をフルオープンさせ、人員体制も強化しており、項目全体として特に進捗していると評価。															
18	<p>※ 在宅医療支援体制の充実</p> <p>1 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実</p> <p>2 家族に対する在宅医療指導等の実施</p> <p>3 在宅移行後の容体悪化等に対する医療支援</p>	<p>1 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年7月から定員2人(空床利用型)で短期入所の受入れを開始していたが、利用者からの要望や利用率の高さを勘案し、平成29年1月に定員を2人から3人に増員した。県内の在宅で生活する重症心身障がい児・者87人(6人増)と契約し、延べ908日のレスパイトケアを実施した。 要望が高く予約できない契約者がいることから、短期入所の充実を目的としてアンケート調査を実施し、利用実態や要望等を把握した。 <p>○短期入所施設の利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>契約者数</td> <td>76人</td> <td>80人</td> <td>81人</td> <td>87人</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H28	H29	H30	2019	定員	2人	3人	3人	3人	契約者数	76人	80人	81人	87人	<p>3 在宅移行後の容体悪化等に対する医療支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅移行後の容体悪化等に対しては、かかりつけ医療機関への受診及び当センターでの救急医療や入院治療等の体制を整備しており、安心して在宅生活が出来るよう医療支援ができた。 	IV	レスパイトケアの充実による短期入所利用者数の増加に加え、在宅移行に向けた教育入所受入数も増加しており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	H28	H29	H30	2019																
定員	2人	3人	3人	3人																
契約者数	76人	80人	81人	87人																

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																				
		<table border="1"> <tr> <td>利用延人員</td> <td>118人</td> <td>181人</td> <td>219人</td> <td>215人</td> </tr> <tr> <td>利用延日数</td> <td>420日</td> <td>712日</td> <td>897日</td> <td>908日</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>76.6%</td> <td>80.8%</td> <td>81.9%</td> <td>82.7%</td> </tr> <tr> <td>予約率</td> <td>84.5%</td> <td>88.3%</td> <td>90.0%</td> <td>91.0%</td> </tr> </table> <p>※定員 H29.11:2人 → 3人</p> <p>2 家族に対する在宅医療指導等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 重症心身障がい児の在宅移行に向けて、家族の障がいの受容や在宅療育に必要な技術等を指導するための教育入所用居室2室の確保や指導マニュアルの作成等、受入体制を整えた。 教育入所受入数 H29:1人46日→H30:3人158日 →2019:4人237日 在宅生活を支援する地域の医療機関や福祉サービス事業者等と連携会議を5回開催し、在宅移行への課題を解決して円滑な在宅移行を達成することができた。 	利用延人員	118人	181人	219人	215人	利用延日数	420日	712日	897日	908日	利用率	76.6%	80.8%	81.9%	82.7%	予約率	84.5%	88.3%	90.0%	91.0%			
利用延人員	118人	181人	219人	215人																					
利用延日数	420日	712日	897日	908日																					
利用率	76.6%	80.8%	81.9%	82.7%																					
予約率	84.5%	88.3%	90.0%	91.0%																					

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期 目標	2-1 効率的な業務運営体制の確立 自律性・機動性・効率性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。
	※ 効果的な組織体制の確立 医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 ITの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。 危機管理事案等発生時における情報共有体制を確立すること。
	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 医療需要の変化に迅速に対応するため、診療科の変更や医師、看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
	※ 事務部門の専門性の向上 事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保し、及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。
	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底 職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。
	※ 適切な情報管理 業務の情報化に対応して、情報セキュリティ対策に努めること。

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																
19	※ 効果的な組織体制の確立 1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 2 各種業務のIT化の推進 3 アウトソーシング導入による合理化 4 経営効率の高い業務執行体制の確立 5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立		1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 ・業務補助職員(日額制)に関し、勤務成績が良好な者については専門業務職員(月額制)に登用できる制度を新設し、職員の定着率向上に努めた。 ・「総合サポートセンター」設置に向けて、効率的かつ効果的な業務内容とするため、プロジェクトチームを立ち上げ、職種横断的な検討を進めた。 ○専門職等雇用状況(各年度末時点) 単位:人 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未収金整理業務</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>診療報酬請求業務</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>相談業務</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>救急災害対策業務</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>診療情報管理士</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医療通訳業務</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	未収金整理業務	1	1	1	1	1	診療報酬請求業務	1	1	1	1	1	社会福祉士	1	1	1	1	1	相談業務	1	1	1	0	0	救急災害対策業務	1	1	1	1	1	診療情報管理士	-	1	1	1	1	医療通訳業務	-	-	1	1	0	III	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価。
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																
未収金整理業務	1	1	1	1	1																																																
診療報酬請求業務	1	1	1	1	1																																																
社会福祉士	1	1	1	1	1																																																
相談業務	1	1	1	0	0																																																
救急災害対策業務	1	1	1	1	1																																																
診療情報管理士	-	1	1	1	1																																																
医療通訳業務	-	-	1	1	0																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	H31（2019）年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)					自己 評価	自己評価理由																								
			<table border="1" data-bbox="1182 252 1778 403"> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>56</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>病棟外来看護事務※</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>看護助手 ※</td> <td>78</td> <td>77</td> <td>75</td> <td>78</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>164</td> <td>166</td> <td>159</td> <td>160</td> <td>168</td> </tr> </table> <p data-bbox="1182 406 1709 432">名称変更：看護クラーク → 病棟外来看護事務 (H29)</p> <p data-bbox="1182 435 1290 461">※は補助職</p> <p data-bbox="1182 504 1458 529">2 各種業務のIT化の推進</p> <ul data-bbox="1182 533 1785 962" style="list-style-type: none"> ・人事給与システムの活用や旅費計算ソフトにより、業務の効率化を図った。 ・平成30年度に業者選定を行った県立3病院新人事給与システムについて、2021年度稼働開始を目指して開発を開始した。2019年度はインフラ（システム基盤）の整備を行い、サーバーを大垣のデータセンターから当センターへ移設しセキュリティの強化を図った。また、職員の勤怠管理を適正に行うため、勤怠管理システム（タイムレコーダー）の導入を行った。 ・全職員が受講対象となっている医療安全及び感染対策研修会について、研修資料をスマートフォン等へダウンロードする方式とし、ペーパーレス化によるコスト削減及び事務の効率化を図った。 <p data-bbox="1182 1002 1563 1027">3 アウトソーシング導入による合理化</p> <ul data-bbox="1182 1031 1785 1259" style="list-style-type: none"> ・庁舎管理部門（設備管理、清掃、防災他）、情報システム関連部門や医業部門（給食、医事業務、洗濯業務他）の専門的スキルを必要とする部門について、アウトソーシングを継続し、業務の合理化を図った。また、新たに内視鏡洗浄業務を導入し、業務の効率化を図った。 ・導入したアウトソーシングについては、必要に応じて委託内容や方法の見直しを実施した。 <p data-bbox="1182 1299 1563 1324">4 経営効率の高い業務執行体制の確立</p> <ul data-bbox="1182 1327 1785 1425" style="list-style-type: none"> ・経営分析等を行うことで、薬品や診療材料の購入価格や委託業務の複数年契約等の経営改善すべき点の把握に努め、効率的な病院運営を図るための方策等を検討した。 					医療クラーク	53	54	55	56	59	病棟外来看護事務※	28	29	22	20	26	看護助手 ※	78	77	75	78	78	合計	164	166	159	160	168		
医療クラーク	53	54	55	56	59																												
病棟外来看護事務※	28	29	22	20	26																												
看護助手 ※	78	77	75	78	78																												
合計	164	166	159	160	168																												

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																														
			<ul style="list-style-type: none"> 医療機関をマネジメントする上で必要な医療及び経営に関する知識と経営課題を解決する能力を有し、実践的な経営能力を備えた専門職を育成するため、朝日大学病院が主催する医療経営士養成プログラムへの研修参加を支援した。 非常勤職員の雇用条件に関して、特に看護助手及び病棟外来看護事務職における給料を見直すとともに、全職種の給与の改善を図った。 <p>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県医療事故調査等支援団体連絡協議会に参加し、医療事故の現状把握と関係機関との情報共有を行った。 																																
20	<p>※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用</p> <p>1 弾力的運用の実施</p> <p>2 効果的な体制による医療の提供</p> <p>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</p>		<p>1 弾力的運用の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 2019年度、診療部門において、下記のとおり組織変更を行うことで、医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した。 <p>○肝胆膵外科(新設) ○臨床検査科(新設) ○呼吸サポートセンター部(新設) ○脳神経内科(改称)</p> <p>2 効果的な体制による医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療職サポートシステムの強化、充実を図るため各種クランクを採用、定着に努めた。 <p>○医師・看護師事務作業補助者数(各年度末時点) 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療クランク</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>56</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>病棟外来看護事務※</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>看護助手</td> <td>78</td> <td>77</td> <td>75</td> <td>78</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>159</td> <td>160</td> <td>152</td> <td>154</td> <td>163</td> </tr> </tbody> </table> <p>※名称変更:看護クランク → 病棟外来看護事務(H29)</p> <p>3 3法人間の人事交流による適正な職員配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 2019年度においては、需要が無く、3法人間での人事交流を実施しなかった。 	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	医療クランク	53	54	55	56	59	病棟外来看護事務※	28	29	22	20	26	看護助手	78	77	75	78	78	合計	159	160	152	154	163	III	継続的に取組ができているが、 平年並みの実績と評価。
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																														
医療クランク	53	54	55	56	59																														
病棟外来看護事務※	28	29	22	20	26																														
看護助手	78	77	75	78	78																														
合計	159	160	152	154	163																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																				
			<p>○他法人職員(3法人間のみ)の受入状況 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	看護師・助産師	0	0	1	0	0	コメディカル	0	0	0	0	0	合計	0	0	1	0	0														
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																				
看護師・助産師	0	0	1	0	0																																				
コメディカル	0	0	0	0	0																																				
合計	0	0	1	0	0																																				
21	※ 事務部門の専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・病院運営や医療事務に精通した事務職員を確保するため、プロパー職員を計画的に採用(2人)した。 ・専門性の向上のため、職務に関連する研修への参加や資格取得を支援し、事務職員の育成に努めた。(診療情報管理士、医療経営士) <p>○事務職員の状況(各年度末時点) 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>50</td> <td>53</td> <td>56</td> <td>62</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>うち、診療情報管理士</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>うち、医療経営士</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>61</td> <td>62</td> <td>64</td> <td>68</td> <td>69</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	プロパー職員	50	53	56	62	64	うち、診療情報管理士	5	5	6	7	10	うち、医療経営士	1	1	1	1	2	県派遣職員	11	9	8	6	5	合計	61	62	64	68	69		IV	プロパー職員を計画的に採用していることに加え、その後の教育体制も充実しており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																				
プロパー職員	50	53	56	62	64																																				
うち、診療情報管理士	5	5	6	7	10																																				
うち、医療経営士	1	1	1	1	2																																				
県派遣職員	11	9	8	6	5																																				
合計	61	62	64	68	69																																				
22	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員に対して個人情報保護に関する研修を行った。 ・全職員を対象にした個人情報保護に関する研修を複数回実施し、トータルで391人が参加した。 ・監事監査、内部監査及び監査法人監査の実施により、コンプライアンスを徹底した。 ・リスク管理委員会を開催し、法人におけるリスク管理の取組み方針を定めた。それをもとに、各部署へのヒアリング等を行い、現状や今後の対応を含めたリスク事象リストを作成した。 ・患者や家族からの請求による個人情報の開示を適切に行った。 		IV	内部統制を強化するため、リスク管理委員会を開催し、リスク事象リストを作成しており、項目全体で特に進捗していると評価。																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																		
		○カルテ開示請求・開示件数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>133</td> <td>172</td> <td>128</td> <td>149</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>126</td> <td>166</td> <td>119</td> <td>139</td> <td>153</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	請求件数	133	172	128	149	171	開示件数	126	166	119	139	153			
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																		
請求件数	133	172	128	149	171																		
開示件数	126	166	119	139	153																		
23	※ 適切な情報管理		<ul style="list-style-type: none"> 新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するとともに、「情報セキュリティ通信」及び情報セキュリティに関する周知文書を随時発行することにより全職員への啓発を行い、情報セキュリティ意識の向上を図った。また、情報ネットワークのセキュリティ対策、USBメモリ等のデバイス制御、メールのウィルスチェック等のセキュリティ対策の適正な維持・管理を行った。 	III	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価。																		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	<p>2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。 ※ 収入の確保 地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。 ※ 費用の削減 薬剤・診療材料の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用などにより費用の節減に努めること。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
24	※ 多様な契約手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> 複数メーカーの機種選定を勧め、ベンチマークを利用した交渉による医療機器の購入を行い、当初の予定金額より年間約9千 		IV	複数メーカーによる機種選定やベンチマークを活

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																					
		<p>万円のコスト削減ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療材料について、ベンチマークを活用して新規採用品目の価格を抑えるとともに、既存使用品目も継続して価格交渉を行い、節減効果を維持した。 医薬品について、経費圧縮等に関するアドバイザーの活用により、継続的な価格交渉を行い、経費削減を図った。 			<p>用した価格交渉等によるコスト削減に加え、その他も継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。</p>																																																																					
25	<p>※ 収入の確保</p> <p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用</p> <p>2 未収金の発生防止対策等</p> <p>3 総合入院体制加算として退院時の開業医への紹介率等の向上</p> <p>4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p>	<p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な病床管理による病床利用率の向上に努めたほか入院診療単価の増額による収益確保に努めた。 地域の医療機関等との連携として、共同指導や病床・設備の開放を行い病診連携を推進した。 登録医からのFAXによるMRI、CT、胃カメラ等の検査予約を実施した。 <p>○FAXによる検査予約実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FAX 予約</td> <td>1,052</td> <td>816</td> <td>979</td> <td>924</td> <td>959</td> </tr> </tbody> </table> <p>○収入関係数値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">外 来</td> <td>患者数(人)</td> <td>340,070</td> <td>333,749</td> <td>336,658</td> <td>336,232</td> <td>343,120</td> </tr> <tr> <td>平均患者数(人/日)</td> <td>1,399</td> <td>1,373</td> <td>1,380</td> <td>1,378</td> <td>1,418</td> </tr> <tr> <td>診療額(百万円)</td> <td>5,449</td> <td>5,826</td> <td>5,818</td> <td>5,969</td> <td>6,264</td> </tr> <tr> <td>診療単価(円/日)</td> <td>16,023</td> <td>17,458</td> <td>17,282</td> <td>17,752</td> <td>18,257</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">入 院</td> <td>患者数(人)</td> <td>189,348</td> <td>189,660</td> <td>192,924</td> <td>191,035</td> <td>194,649</td> </tr> <tr> <td>平均患者数(人/日)</td> <td>517</td> <td>520</td> <td>529</td> <td>523</td> <td>532</td> </tr> <tr> <td>診療額(百万円)</td> <td>14,759</td> <td>14,802</td> <td>15,338</td> <td>16,053</td> <td>16,556</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>77,948</td> <td>78,044</td> <td>79,501</td> <td>84,032</td> <td>85,055</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	FAX 予約	1,052	816	979	924	959			H27	H28	H29	H30	2019	外 来	患者数(人)	340,070	333,749	336,658	336,232	343,120	平均患者数(人/日)	1,399	1,373	1,380	1,378	1,418	診療額(百万円)	5,449	5,826	5,818	5,969	6,264	診療単価(円/日)	16,023	17,458	17,282	17,752	18,257	入 院	患者数(人)	189,348	189,660	192,924	191,035	194,649	平均患者数(人/日)	517	520	529	523	532	診療額(百万円)	14,759	14,802	15,338	16,053	16,556	診療単価	77,948	78,044	79,501	84,032	85,055		IV	<p>未収金回収や各種施設基準の対応が確実に実施できたことに加え、その他も継続的に取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。</p>
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																					
FAX 予約	1,052	816	979	924	959																																																																					
		H27	H28	H29	H30	2019																																																																				
外 来	患者数(人)	340,070	333,749	336,658	336,232	343,120																																																																				
	平均患者数(人/日)	1,399	1,373	1,380	1,378	1,418																																																																				
	診療額(百万円)	5,449	5,826	5,818	5,969	6,264																																																																				
	診療単価(円/日)	16,023	17,458	17,282	17,752	18,257																																																																				
入 院	患者数(人)	189,348	189,660	192,924	191,035	194,649																																																																				
	平均患者数(人/日)	517	520	529	523	532																																																																				
	診療額(百万円)	14,759	14,802	15,338	16,053	16,556																																																																				
	診療単価	77,948	78,044	79,501	84,032	85,055																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																			
		<table border="1" data-bbox="555 248 1167 419"> <tr> <td>(円/日)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>在院日数 (日)</td> <td>11.7</td> <td>11.9</td> <td>12.0</td> <td>11.4</td> <td>11.3</td> </tr> <tr> <td>病床利用 率(%)</td> <td>87.7</td> <td>87.0</td> <td>87.5</td> <td>86.7</td> <td>86.7</td> </tr> </table> <p>※病床利用率 分子：延べ入院患者数（＝各24時時点の在院患者数＋退院患者数） 分母：運用病床数×日数</p> <p>2 未収金の発生防止対策及び回収 <発生防止> ・入院説明室の際に、入院決定時に概算費用の提示や福祉制度の説明などを行った。また、入院患者には原則として限度額認定証の提示を求めていることを説明し、その手続きを依頼した。 ・救急搬送患者に対しては、医療相談員が身元確認、保険確認を早期に行い、医療保険制度の活用を紹介するなど高額な患者負担額とならないよう努めた。 ・出産に伴う入院費については、出産一時金直接払制度を利用していただくよう徹底を図った。制度の利用が困難な事案については、医療相談員が早期に介入し、退院時の支払が出来るよう支援を行った。</p> <p><回収> ・毎月2回、定期的に督促状を發布し、早期に未収金回収に着手した。 ・督促状發布後、随時催告状を発送するとともに必要に応じ夜間電話催告や臨宅催告を行った。 ・未納者が受診した際には、面談による納付催告を実施した。 ・回収困難な未収金について、弁護士法人に回収業務を委託し、回収の実績を上げた。</p> <p>○回収実績（年度末現在）</p> <table border="1" data-bbox="555 1257 1167 1415"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託金額 (単位：千円)</td> <td>147,186</td> <td>157,246</td> <td>165,886</td> <td>176,609</td> <td>187,462</td> </tr> <tr> <td>回収金額 (単位：千円)</td> <td>59,950</td> <td>66,898</td> <td>75,693</td> <td>80,746</td> <td>85,310</td> </tr> </tbody> </table>	(円/日)						在院日数 (日)	11.7	11.9	12.0	11.4	11.3	病床利用 率(%)	87.7	87.0	87.5	86.7	86.7	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	委託金額 (単位：千円)	147,186	157,246	165,886	176,609	187,462	回収金額 (単位：千円)	59,950	66,898	75,693	80,746	85,310		
(円/日)																																								
在院日数 (日)	11.7	11.9	12.0	11.4	11.3																																			
病床利用 率(%)	87.7	87.0	87.5	86.7	86.7																																			
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																			
委託金額 (単位：千円)	147,186	157,246	165,886	176,609	187,462																																			
回収金額 (単位：千円)	59,950	66,898	75,693	80,746	85,310																																			

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																														
		<table border="1"> <tr> <td>回収率 (単位: %)</td> <td>40.7</td> <td>42.5</td> <td>45.6</td> <td>45.7</td> <td>45.5</td> </tr> </table> <p>○未収金発生状況(翌年度5月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年度分</td> <td>522</td> <td>50,184</td> <td>415</td> <td>46,813</td> <td>406</td> <td>50,843</td> </tr> <tr> <td>現年度分</td> <td>319</td> <td>24,854</td> <td>263</td> <td>30,739</td> <td>246</td> <td>19,660</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>841</td> <td>75,038</td> <td>678</td> <td>77,552</td> <td>652</td> <td>70,503</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">2019</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年度分</td> <td>400</td> <td>44,535</td> <td>357</td> <td>46,723</td> </tr> <tr> <td>現年度分</td> <td>279</td> <td>33,424</td> <td>263</td> <td>22,281</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>679</td> <td>77,959</td> <td>620</td> <td>69,004</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 各種施設基準への対応及び要件の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合入院体制加算(退院時診療情報添付加算算定割合: 40%以上)及び地域医療支援病院入院診療加算(紹介率: 50%以上、逆紹介率: 70%以上)の算定基準(要件)を大幅に超えることができた。 <p>○紹介率・逆紹介率等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率 (単位: %)</td> <td>64.1</td> <td>72.3</td> <td>75.3</td> <td>77.0</td> <td>77.3</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数 (単位: 件)</td> <td>16,440</td> <td>15,619</td> <td>15,954</td> <td>15,779</td> <td>15,931</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (単位: %)</td> <td>84.2</td> <td>94.1</td> <td>99.2</td> <td>98.1</td> <td>96.2</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数 (単位: 件)</td> <td>20,111</td> <td>20,338</td> <td>21,017</td> <td>20,115</td> <td>19,811</td> </tr> </tbody> </table>	回収率 (単位: %)	40.7	42.5	45.6	45.7	45.5		H27		H28		H29		件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	過年度分	522	50,184	415	46,813	406	50,843	現年度分	319	24,854	263	30,739	246	19,660	合計	841	75,038	678	77,552	652	70,503		H30		2019		件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	過年度分	400	44,535	357	46,723	現年度分	279	33,424	263	22,281	合計	679	77,959	620	69,004	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	紹介率 (単位: %)	64.1	72.3	75.3	77.0	77.3	紹介実施件数 (単位: 件)	16,440	15,619	15,954	15,779	15,931	逆紹介率 (単位: %)	84.2	94.1	99.2	98.1	96.2	逆紹介実施件数 (単位: 件)	20,111	20,338	21,017	20,115	19,811			
回収率 (単位: %)	40.7	42.5	45.6	45.7	45.5																																																																																														
	H27		H28		H29																																																																																														
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)																																																																																													
過年度分	522	50,184	415	46,813	406	50,843																																																																																													
現年度分	319	24,854	263	30,739	246	19,660																																																																																													
合計	841	75,038	678	77,552	652	70,503																																																																																													
	H30		2019																																																																																																
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)																																																																																															
過年度分	400	44,535	357	46,723																																																																																															
現年度分	279	33,424	263	22,281																																																																																															
合計	679	77,959	620	69,004																																																																																															
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																																																														
紹介率 (単位: %)	64.1	72.3	75.3	77.0	77.3																																																																																														
紹介実施件数 (単位: 件)	16,440	15,619	15,954	15,779	15,931																																																																																														
逆紹介率 (単位: %)	84.2	94.1	99.2	98.1	96.2																																																																																														
逆紹介実施件数 (単位: 件)	20,111	20,338	21,017	20,115	19,811																																																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																										
		<table border="1"> <tr> <td>退院時加算 (単位：%)</td> <td>49.9</td> <td>48.5</td> <td>46.8</td> <td>46.9</td> <td>45.0</td> </tr> </table> <p>4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DPC特定病院群(旧II群)要件となっている診療密度等の各指標について、維持向上やベンチマーク分析を行った結果、DPC特定病院群を維持できた。また、診療情報改定情報の早期取得に努め、取得可能な項目(地域医療体制確保加算)については2020年4月から算定できるよう迅速に届出を行った。他にも体制の変更(すこやか4階の開設・4階西病棟GCUの運用)に関する届出を行った。 	退院時加算 (単位：%)	49.9	48.5	46.8	46.9	45.0																																							
退院時加算 (単位：%)	49.9	48.5	46.8	46.9	45.0																																										
26	<p>※ 費用の削減</p> <p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底</p> <p>2 後発医薬品の効率的採用</p>	<p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底や後発医薬品(ジェネリック医薬品)の効率的採用等による費用の節減を図った。 ・医薬品については、アドバイザー活用による情報収集により継続した価格交渉を実施し、年間薬価差益が約5億円となった。 ・診療材料について、ベンチマークを活用した価格交渉の結果、当初の予定金額より年間約2,700万円のコスト削減ができた。 ・継続して各部署における診療材料の定数品目及び数量の見直しを行い、効率的な管理を推進した。 <p>○医薬収益に対する材料費比率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料比率 ※1</td> <td>30.9</td> <td>31.4</td> <td>29.4</td> <td>27.8</td> <td>29.1</td> </tr> <tr> <td>(内 薬品費) ※2</td> <td>14.7</td> <td>15.6</td> <td>13.2</td> <td>12.5</td> <td>13.4</td> </tr> <tr> <td>(内 診療材料費)</td> <td>15.7</td> <td>15.2</td> <td>15.6</td> <td>15.2</td> <td>15.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 重症心身障がい児施設を除く ※2 H29 から高額医薬品を除く</p>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	材料比率 ※1	30.9	31.4	29.4	27.8	29.1	(内 薬品費) ※2	14.7	15.6	13.2	12.5	13.4	(内 診療材料費)	15.7	15.2	15.6	15.2	15.7	<p>2 後発医薬品の効率的採用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先発医薬品から後発医薬品(ジェネリック医薬品)に、院内コンセンサスを得ながら切替えを促進した。 <p>○ジェネリック医薬品使用率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対全医薬品 ※1</td> <td>20.9</td> <td>21.9</td> <td>24.9</td> <td>26.3</td> <td>23.5</td> </tr> <tr> <td>対後発医薬品がある医薬品 ※2</td> <td>80.7</td> <td>85.5</td> <td>84.3</td> <td>86.4</td> <td>86.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：[後発医薬品の数量]/[全医薬品の数量] ※2：[後発医薬品の数量]/([後発医薬品のある先発医薬品の数量]+[後発医薬品の数量])</p>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	対全医薬品 ※1	20.9	21.9	24.9	26.3	23.5	対後発医薬品がある医薬品 ※2	80.7	85.5	84.3	86.4	86.1	IV	経費圧縮に関するアドバイザーを活用し、医薬品等の価格交渉を継続的に実施することで、材料比率29.1%と年度計画の目標を達成できたことに加え、その他も継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																										
材料比率 ※1	30.9	31.4	29.4	27.8	29.1																																										
(内 薬品費) ※2	14.7	15.6	13.2	12.5	13.4																																										
(内 診療材料費)	15.7	15.2	15.6	15.2	15.7																																										
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																										
対全医薬品 ※1	20.9	21.9	24.9	26.3	23.5																																										
対後発医薬品がある医薬品 ※2	80.7	85.5	84.3	86.4	86.1																																										

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期 目標	※ 経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、経常収支比率100%以上を達成すること。 ※ 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院のうち黒字病院であるものの当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標期間の最終年度までに達成すること。
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																								
27	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。		中期計画上の取組を確実に実施することで、業務運営の改善及び効率化を進めた。その結果、経常収支比率99.7%、医業収支比率104.5%、職員給与費対医業収益比率48.4%とおおむね年度計画の目標を達成できたが、経常収支比率についてはわずかに達成できなかった。 ○経常収支比率・医業収支比率・職員給与費対医業収益比率 単位：％ <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>99.6</td> <td>98.8</td> <td>100.1</td> <td>100.4</td> <td>99.7</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率 ※</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>104.6</td> <td>104.4</td> <td>104.5</td> </tr> <tr> <td>職員給与費対医業収益比率(人件費比率) ※</td> <td>48.4</td> <td>48.9</td> <td>48.0</td> <td>48.1</td> <td>48.4</td> </tr> </tbody> </table> ※重症心身障がい児施設を除く ○決算(2019年度) 単位：百万円 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>決算額</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>24,500</td> <td>24,991</td> <td>491</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>22,553</td> <td>23,105</td> <td>552</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,496</td> <td>1,488</td> <td>▲8</td> </tr> <tr> <td> 重症心身障がい児施設収益</td> <td>185</td> <td>183</td> <td>▲2</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>266</td> <td>214</td> <td>▲52</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>218</td> <td>230</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	経常収支比率	99.6	98.8	100.1	100.4	99.7	医業収支比率 ※	—	—	104.6	104.4	104.5	職員給与費対医業収益比率(人件費比率) ※	48.4	48.9	48.0	48.1	48.4	区 分	計画額	決算額	増減	収入				営業収益	24,500	24,991	491	医業収益	22,553	23,105	552	運営費負担金収益	1,496	1,488	▲8	重症心身障がい児施設収益	185	183	▲2	その他営業収益	266	214	▲52	営業外収益	218	230	12	III	経常収支比率99.7%、医業収支比率104.5%、職員給与費対医業収益比率48.4%と年度計画の目標をおおむね達成できているが、経常収支比率が達成できなかったため、平年並みの実績と評価。
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																								
経常収支比率	99.6	98.8	100.1	100.4	99.7																																																								
医業収支比率 ※	—	—	104.6	104.4	104.5																																																								
職員給与費対医業収益比率(人件費比率) ※	48.4	48.9	48.0	48.1	48.4																																																								
区 分	計画額	決算額	増減																																																										
収入																																																													
営業収益	24,500	24,991	491																																																										
医業収益	22,553	23,105	552																																																										
運営費負担金収益	1,496	1,488	▲8																																																										
重症心身障がい児施設収益	185	183	▲2																																																										
その他営業収益	266	214	▲52																																																										
営業外収益	218	230	12																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																																												
			<table border="1"> <tr> <td>運営費負担金収益</td> <td>108</td> <td>117</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>その他営業外収益</td> <td>111</td> <td>112</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>資本収入</td> <td>1,681</td> <td>1,778</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td>948</td> <td>1,090</td> <td>142</td> </tr> <tr> <td>運営費負担金</td> <td>722</td> <td>672</td> <td>▲50</td> </tr> <tr> <td>その他資本収入</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26,400</td> <td>27,002</td> <td>602</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>21,839</td> <td>22,683</td> <td>844</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>21,009</td> <td>21,875</td> <td>866</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>10,108</td> <td>10,597</td> <td>489</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>7,181</td> <td>7,626</td> <td>445</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>3,524</td> <td>3,504</td> <td>▲20</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>196</td> <td>146</td> <td>▲50</td> </tr> <tr> <td> 重症心身障がい児 施設費用</td> <td>405</td> <td>364</td> <td>▲41</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>425</td> <td>443</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>380</td> <td>404</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>45</td> <td>38</td> <td>▲7</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>174</td> <td>170</td> <td>▲4</td> </tr> <tr> <td>資本支出</td> <td>4,507</td> <td>2,982</td> <td>▲1,525</td> </tr> <tr> <td> 建設改良費</td> <td>2,922</td> <td>1,404</td> <td>▲1,518</td> </tr> <tr> <td> 償還金</td> <td>1,520</td> <td>1,519</td> <td>▲1</td> </tr> <tr> <td> その他資本支出</td> <td>65</td> <td>58</td> <td>▲7</td> </tr> <tr> <td>その他の支出</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26,520</td> <td>25,837</td> <td>▲683</td> </tr> </table> <p>(注記 略)</p> <p>○収支計画に対する実績(2019年度) 単位:百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>決算額</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益の部</td> <td>24,685</td> <td>25,196</td> <td>511</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>24,471</td> <td>24,967</td> <td>496</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>22,517</td> <td>23,070</td> <td>553</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,496</td> <td>1,488</td> <td>▲8</td> </tr> <tr> <td> 資産見返負債戻入</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 重症心身障がい児 施設収益</td> <td>185</td> <td>183</td> <td>▲2</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>255</td> <td>208</td> <td>▲47</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>214</td> <td>226</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	運営費負担金収益	108	117	9	その他営業外収益	111	112	1	資本収入	1,681	1,778	97	長期借入金	948	1,090	142	運営費負担金	722	672	▲50	その他資本収入	12	14	2	その他の収入	—	2	2	計	26,400	27,002	602	支出				営業費用	21,839	22,683	844	医業費用	21,009	21,875	866	給与費	10,108	10,597	489	材料費	7,181	7,626	445	経費	3,524	3,504	▲20	研究研修費	196	146	▲50	重症心身障がい児 施設費用	405	364	▲41	一般管理費	425	443	18	給与費	380	404	24	経費	45	38	▲7	営業外費用	174	170	▲4	資本支出	4,507	2,982	▲1,525	建設改良費	2,922	1,404	▲1,518	償還金	1,520	1,519	▲1	その他資本支出	65	58	▲7	その他の支出	—	1	1	計	26,520	25,837	▲683	区 分	計画額	決算額	増減	収益の部	24,685	25,196	511	営業収益	24,471	24,967	496	医業収益	22,517	23,070	553	運営費負担金収益	1,496	1,488	▲8	資産見返負債戻入	17	17	0	重症心身障がい児 施設収益	185	183	▲2	その他営業収益	255	208	▲47	営業外収益	214	226	12		
運営費負担金収益	108	117	9																																																																																																																																														
その他営業外収益	111	112	1																																																																																																																																														
資本収入	1,681	1,778	97																																																																																																																																														
長期借入金	948	1,090	142																																																																																																																																														
運営費負担金	722	672	▲50																																																																																																																																														
その他資本収入	12	14	2																																																																																																																																														
その他の収入	—	2	2																																																																																																																																														
計	26,400	27,002	602																																																																																																																																														
支出																																																																																																																																																	
営業費用	21,839	22,683	844																																																																																																																																														
医業費用	21,009	21,875	866																																																																																																																																														
給与費	10,108	10,597	489																																																																																																																																														
材料費	7,181	7,626	445																																																																																																																																														
経費	3,524	3,504	▲20																																																																																																																																														
研究研修費	196	146	▲50																																																																																																																																														
重症心身障がい児 施設費用	405	364	▲41																																																																																																																																														
一般管理費	425	443	18																																																																																																																																														
給与費	380	404	24																																																																																																																																														
経費	45	38	▲7																																																																																																																																														
営業外費用	174	170	▲4																																																																																																																																														
資本支出	4,507	2,982	▲1,525																																																																																																																																														
建設改良費	2,922	1,404	▲1,518																																																																																																																																														
償還金	1,520	1,519	▲1																																																																																																																																														
その他資本支出	65	58	▲7																																																																																																																																														
その他の支出	—	1	1																																																																																																																																														
計	26,520	25,837	▲683																																																																																																																																														
区 分	計画額	決算額	増減																																																																																																																																														
収益の部	24,685	25,196	511																																																																																																																																														
営業収益	24,471	24,967	496																																																																																																																																														
医業収益	22,517	23,070	553																																																																																																																																														
運営費負担金収益	1,496	1,488	▲8																																																																																																																																														
資産見返負債戻入	17	17	0																																																																																																																																														
重症心身障がい児 施設収益	185	183	▲2																																																																																																																																														
その他営業収益	255	208	▲47																																																																																																																																														
営業外収益	214	226	12																																																																																																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)			自己 評価	自己評価理由	
			運営費負担金収益	108	117	9		
			その他営業外収益	107	109	2		
			臨時利益	—	2	2		
			費用の部	24,656	25,259	603		
			営業費用	23,356	24,072	716		
			医業費用	22,555	23,302	747		
			給与費	10,386	10,796	410		
			材料費	6,595	6,999	404		
			減価償却費	2,140	2,086	▲54		
			経費	3,251	3,282	31		
			研究研修費	184	135	▲49		
			重症心身障がい児 施設費用	396	361	▲35		
			給与費	329	293	▲36		
			材料費	17	17	0		
			減価償却費	—	0	0		
			経費	49	48	▲1		
			研究研修費	1	1	0		
			一般管理費	404	409	5		
			給与費	359	370	11		
			減価償却費	4	3	▲1		
			経費	41	36	▲5		
			営業外費用	1,300	1,184	▲116		
			臨時損失	—	2	2		
			予備費	—	0	0		
			純利益	29	▲63	▲92		
			目的積立金取崩額	—	0	0		
			総利益	29	▲63	▲92		
			(注記 略)					
			○資金計画に対する実績(2019年度) 単位:百万円					
			区 分	計画額	決算額	増減		
			資金収入	35,400	35,813	413		
			業務活動による収入	24,719	24,979	260		
			診療業務による収入	22,738	23,103	365		
			運営費負担金による収入	1,604	1,663	59		

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)			自己 評価	自己評価理由
			その他の業務活動 による収入	376	212	▲164	
			投資活動による収入	180	129	▲51	
			運営費負担金による 収入	168	103	▲65	
			その他の投資活動 による収入	12	25	13	
			財務活動による収入	1,501	1,642	141	
			長期借入による収 入	948	1,090	142	
			その他の財務活動 による収入	553	552	▲1	
			前事業年度からの繰越 金	9,000	9,061	61	
			資金支出	35,400	35,813	413	
			業務活動による支出	22,013	22,824	811	
			給与費支出	10,820	11,423	603	
			材料費支出	7,200	7,701	501	
			その他の業務活動 による支出	3,993	3,698	▲295	
			投資活動による支出	2,987	1,395	▲1,592	
			有形固定資産の取 得による支出	2,922	1,307	▲1,615	
			その他の投資活動 による支出	65	88	23	
			財務活動による支出	1,520	1,519	▲1	
			長期借入金の返済 による支出	526	526	0	
			移行前地方債償還 債務の償還による 支出	993	993	0	
			その他の財務活動 による支出	—	0	0	
			翌事業年度への繰越金	8,881	10,073	1,192	
			(注記 略)				

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 短期借入金の限度額 1 限度額 2 想定される短期借入金の発生理 由		1 限度額 ・ 10億円 2 想定される短期借入金の発生理 由 ・ 実績なし	—	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 出資等に係る不要財産又は出資 等に係る不要財産となることが見 込まれる財産がある場合には、当 該財産の処分に関する計画		・ 該当なし	—	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 重要な財産を譲渡し、又は担保に 供しようとするときは、その計画		・ 該当なし	一	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

7 剰余金の使途

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 剰余金の使途		・ 該当なし	一	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期 目標	8-1 職員の就労環境の向上	職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。 さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に生かし、医療従事者を必要数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
	8-3 施設・医療機器の整備に関する事項	病棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案して計画的に実施すること。
	8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実に実行すること。

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																	
28	※ 職員の就労環境の向上 1 職員の就労環境の整備 2 職員の健康管理対策の充実 3 病児・病後児保育を含めた院内保育施設の整備及び充実	<p>3 病児・病後児保育を含めた院内保育施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年2月から24時間保育を実施している。 病児・病後児保育の定員について、平成29年4月から3人から6人へと変更した。この結果、多くの職員が利用することができた。 平成30年3月からネット予約システムを導入し、利便性の向上を図った。 病児・病後児保育施設の利用資格の拡大について検討を行い、平成31年1月から利用資格の一部拡大について試行した。また、更なる利用資格の拡大について、2020年1月に実施した。 <p>○院内保育所の運営状況(年度末現在)</p> <p>・入所施設(こぼと) 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>10</td> <td>18</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p>・病児・病後児保育施設(バンビ) 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>94</td> <td>283</td> <td>206</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td>保育士・看護師数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H28.4 運営開始、定員 H28:3人 → H29:6人</p>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	入所者数	47	47	54	55	39	保育士数	10	18	22	21	19	項目/年度	H28	H29	H30	2019	延べ利用者数	94	283	206	131	保育士・看護師数	3	3	3	3	<p>1 職員の就労環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ハラスメント防止に向けて、3つの院内相談窓口の設置や専用アドレスの運用を継続した。 職員が各種休暇や各種手当を申請しやすいう休暇の手引き及び諸手当届出のためのガイドブックを新たに整備した。 職員の労働時間を適正に把握するため、タイムレコーダー(I Dカードによる打刻システム)を導入した。 医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組の一環として、業務と自己研さんを明確に切り分け、職員に周知した。 24時間体制で警備員を配置し、併せて「院内暴力対応マニュアル」を周知することで、院内暴力に対する取組を強化した。 専門職の雇用を拡充し、病院職員の最適な勤務環境の改善に努めた。 職員の専門的能力が十分に活用される効果的な病院運営のため、特に看護助手及び病棟外来看護事務職における給料を見直し、専門職の雇用の拡充に努めた。 医師住宅の浄化槽保守点検、清掃等適切な管理に努めた。 女性職員が働きやすい労働環境への改善に向け、「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」にて病児・病後児保育施設の利用拡大について検討を行い、保育所運営を行う保育所運営協議会に対して運用の見直しと改善についての提言を行った。また、女性活躍推進法の一部改正に伴い、一般事業主行動計画における情報公表項目についての検討を行った。 衛生・労働安全委員会で、長時間残業職員数を報告し、縮減するよう啓発に努めた。 看護師のみならず医師やコメディカルについても、変形労働時間制による勤務を採用することにより、時間外勤務時間の 	IV	病児・病後児保育のネット予約システムの運用を円滑に行い、利用対象者拡大を実施しており、その他も含め項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																	
入所者数	47	47	54	55	39																																	
保育士数	10	18	22	21	19																																	
項目/年度	H28	H29	H30	2019																																		
延べ利用者数	94	283	206	131																																		
保育士・看護師数	3	3	3	3																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H31（2019）年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																		
			<p>縮減に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医局会や看護師長会を通じ、代休の取得や週休日の振替の徹底を図った。 <p>○代休等取得状況 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1182 416 1778 520"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代休取得</td> <td>37</td> <td>53</td> <td>33</td> <td>37</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>週休日振替</td> <td>1,445</td> <td>1,142</td> <td>850</td> <td>756</td> <td>1,138</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 職員の健康管理対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記のとおり職員の健康管理対策の充実に努めた。 <p><健康診断></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方独立行政法人化前と同様の一般定期健康診断に加え、非常勤職員に対しては、協会けんぽの生活習慣病予防検診を活用するとともに、人間ドックを希望する常勤職員に対しては、共済組合の助成を受けた人間ドックを実施した。 ・特殊業務及び特定業務（有機溶剤取扱業務、特定化学物質取扱業務、放射線取扱業務、粉じん業務、深夜業務従事業務）従事者に対して必要項目の健康診断を実施した。 <p><任意検査等（各種抗体検査、予防接種等）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・B型肝炎検査及び小児ウイルス検査を実施した。その結果、抗体が陰性で予防接種を希望する職員に対しては、ワクチンの接種を行った。 ・希望する職員に対してはインフルエンザワクチンの接種を実施した。 <p><メンタルヘルス></p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内に設置した相談窓口（さわやか健康相談）において、専任の臨床心理士による相談を実施するとともに、外部の相談窓口として、「心の健康相談」事業をぎふストレスケアクリニック及び県精神保健福祉センターで実施した。 ・ストレスチェックを実施し、結果を衛生・労働安全委員会に報告するとともに、健康リスクが高いと分析された所属に対し 	項目／年度	H27	H28	H29	H30	2019	代休取得	37	53	33	37	43	週休日振替	1,445	1,142	850	756	1,138		
項目／年度	H27	H28	H29	H30	2019																		
代休取得	37	53	33	37	43																		
週休日振替	1,445	1,142	850	756	1,138																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																
			ては産業医による聞き取りを実施した。																																																		
29	※ 岐阜県及び他の地方独立行政 法人との連携に関する事項		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、岐阜県立衛生専門学校へ1名の退職派遣を行った。 <p>○職員の他法人への出向状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>(2)</td> <td>(1)</td> <td>(2)</td> <td>(2)</td> <td>(1)</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>(2)</td> <td>(1)</td> <td>(2)</td> <td>(2)</td> <td>(1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()は岐阜県への退職派遣者数(外数)</p> <p>○県及び他法人職員の受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>2019</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	看護師	(2)	(1)	(2)	(2)	(1)	コメディカル	0	0	0	0	0	合計	(2)	(1)	(2)	(2)	(1)	項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019	看護師・助産師	0	0	1	0	1	コメディカル	0	0	0	0	0	合計	0	0	1	0	0	III	継続的に取組ができてい るが、平年並みの実績と 評価。
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																
看護師	(2)	(1)	(2)	(2)	(1)																																																
コメディカル	0	0	0	0	0																																																
合計	(2)	(1)	(2)	(2)	(1)																																																
項目/年度	H27	H28	H29	H30	2019																																																
看護師・助産師	0	0	1	0	1																																																
コメディカル	0	0	0	0	0																																																
合計	0	0	1	0	0																																																
30	<ul style="list-style-type: none"> ※ 施設・医療機器の整備に関する事項 1 医療機器の計画的な更新・整備 2 診療施設等の計画的な整備 	<ul style="list-style-type: none"> 2 診療施設等の計画的な整備 ・放射線治療装置(リニアック)の更新に伴う南棟の整備について、実施設計を行った。 ・患者サービス向上のため新設が決まった総合サポートセンターの工事に着手した。 	<ul style="list-style-type: none"> 1 医療機器の計画的な更新・整備 ・医療機器について、更新計画の見直しを行い、計画的な整備を実施した。 ・消費税増税に対応するために、増税前の早期購入を行った。 <p>○医療機器・施設整備に関する総投資額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>投資額</th> <th>財 源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>1,400百万円</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table>		投資額	財 源	病院施設、医療機器等整備	1,400百万円	設立団体からの長期借入金等	IV	総合サポートセンターの 工事着手や南棟整備に係 る実施計画の策定など、 計画的な整備が実施でき ており、項目全体で特に 進捗していると評価。																																										
	投資額	財 源																																																			
病院施設、医療機器等整備	1,400百万円	設立団体からの長期借入金等																																																			
31	※ 法人が負担する債務の償還に 関する事項		<ul style="list-style-type: none"> ・法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に実施した。 <p>○債務の償還状況(合計) 単位：百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27年</td> <td>752</td> <td>752</td> </tr> <tr> <td>H28年</td> <td>2,137</td> <td>2,137</td> </tr> <tr> <td>H29年</td> <td>982</td> <td>982</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	計画	H27年	752	752	H28年	2,137	2,137	H29年	982	982	III	継続的に取組ができてい るが、平年並みの実績と 評価。																																				
年度	実績	計画																																																			
H27年	752	752																																																			
H28年	2,137	2,137																																																			
H29年	982	982																																																			

項目 No.	中期計画の取組項目	H31(2019)年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)			自己 評価	自己評価理由
			H30年	921	921		
			2019年	1,519	1,519		
			中期計画期間計	6,312	6,312		
			*第1期中期計画(H22~H26) 実績10,826千円、計画10,826千円				
			<内訳>				
			○移行前地方債償還債務 単位:百万円				
			年度	実績	計画		
			H27年	449	449		
			H28年	459	459		
			H29年	462	462		
			H30年	386	386		
			2019年	993	993		
			中期計画期間計	2,750	2,750		
			*第1期中期計画(H22~H26) 実績10,826千円、計画10,826千円				
			○長期借入金償還額 単位:百万円				
			年度	実績	計画		
			H27年	303	303		
			H28年	1,677	1,677		
			H29年	519	519		
			H30年	535	535		
			2019年	526	526		
			中期計画期間計	3,562	3,562		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況